

# 平成6年度 (平成6年3月1日から平成7年2月28日まで) 事業報告

## 特記事項

1. 「大学と企業双方にとって魅力ある新しい時代に即した協会」を再構築するための「リストラ80」活動を続行。H7.4月の新体制発足に先立ち、H6.4月より一部改革を前倒し実行。『リストラ80協議会』の後を受け「拡大リストラ80協議会」を企画委員会の下に設置し、H6年度より権限の委譲と会議運営の効率化を目指すことにより、理事会、企画委員会の運営見直しを実施。現行委員会活動との調整も含め、「リストラ80」を推進。同協議会のもと、学術準備小委員会、技術準備小委員会および新たに再編発足した企画小委員会の各委員会において詳細検討。その検討結果を4回にわたる理事会で提案、議決。
2. 4月1日付で鉄鋼標準化センターを日本鉄鋼連盟の標準部に統合。
3. 9月26日付で図書・資料業務を千葉工業大学図書館に移管。
4. 上記に伴い9月末をもって別館事務所を閉鎖。
5. 第1回世界製鉄会議を6月14～17日仙台で開催。講演件数110件、参加者235名。
6. 材料電磁プロセス国際会議を10月25～28日名古屋で開催。講演件数85件、参加者170名。
7. 二国間シンポジウムとして「第2回日本・カナダシンポジウム」を8月22～24日カナダ、トロント市で開催。
8. 第1,2回小規模国際会議として「IF鋼の金属学国際フォーラム」及び「低炭素高強度鋼の組織に関する国際シンポジウム」を5月、11月に東京で各々開催。
9. 「鉄と鋼」創立80周年記念特集号—21世紀にむけて鉄鋼技術10年の軌跡—の編集・脱稿、H7.4月刊行予定。
10. H7.4月の専門分野別部会の発足にともない、講演大会の講演申込キーワードも同時に変更。
11. 編集・講演大会の各事業の合理化を行い、経費節減を図った。
12. 日本学術会議金属工学研究連絡委員会に新しく設置された4つの専門委員会の内、金属プロセス専門委員会の世話学会を本会が引き受け、そのための協力組織として本会内に金属プロセス専門小委員会(小委員長 浅井 滋生・名大)を発足。
13. 共同研究会
  - (1) 圧延理論部会は100回記念公開シンポジウム「圧延技術、圧延理論の発展と将来への潮流」(2日間)を東京で開催。(参加約300名)
  - (2) 設備技術部会鉄鋼設備分科会は50回記念大会を迎え、27年間の活動成果、歴史の報告、鉄鋼技術分野の記念講演を行った。
  - (3) 設備技術部会圧延設備分科会は50回記念大会を迎え、27年間の活動成果、歴史の報告、圧延技術分野の記念講演を行った。
14. 特基研究会
  - (1) 変形特性の予測と制御部会、鉄鋼の初期凝固研究部会がシンポジウムを開催し終了。
  - (2) 新コークスプロセス工学部会、再結晶・集合組織部会、耐火物の組織評価部会が発足。
15. 基礎研究会
  - (1) 組織制御と性質研究部会は部会報告書「組織制御と性質」[データ集]等3分冊をH5.9月発刊し、部会活動を終了。
  - (2) 耐火物の組織評価研究部会は活動終了したが、引き続き特基研として新テーマで活動再開。また、マイクロ組織センサー研究部会は報告書刊行し、H6.10月秋季講演大会討論会で最終報告会を行い、部会活動を終了。
  - (3) 実用構造用鋼の基礎特性研究部会と材料機能へのメソスコピックアプローチ研究部会が発足。

## 目

## 次

I. 会議	N316
1. 総会	N316
2. 評議員会	N316
3. 理事会	N316
4. 特別資金運営委員会	N316
5. 名誉会員候補選考委員会、次期役員候補選考委員会	N316
6. 日本学術会議会員候補者選考委員会	N316
7. 一般表彰選考委員会	N316
8. 特別表彰選考委員会	N316
9. 委員長会議	N316
10. 支部長会議	N316
11. 企画委員会	N316
11.1 拡大リストラ80協議会	N316
11.2 企画小委員会	N316
11.3 学術準備小委員会	N316

11.4 技術準備小委員会	N316
11.5 表彰奨励推薦分科会	N316
11.6 創立80周年記念事業小委員会	N316
12. 金属・鉄鋼協議会	N316
13. 境界領域委員会	N316
13.1 境界領域企画分科会	N317
13.2 チタン分科会	N317
13.3 材料電磁プロセス分科会	N317
13.4 プラズマプロセス分科会	N317
13.5 自動車用材料分科会	N317
13.6 粉末焼結分科会	N317
14. 編集委員会	N317
14.1 和文会誌分科会	N317
14.2 欧文会誌分科会	N317
14.3 講演大会分科会	N317
14.4 俵論文賞選考小委員会	N317

14.5	澤村論文賞選考小委員会	N317
14.6	機械翻訳推進分科会	N317
14.7	「鉄と鋼」創立80周年記念特集号編集小委員会	N317
15.	育成委員会	N317
15.1	企画小委員会	N317
15.2	知的財小委員会	N317
15.3	技術講座小委員会	N317
15.4	鉄鋼工学セミナー小委員会	N317
15.5	鉄鋼工学アドバンスセミナー小委員会	N317
15.6	日向方斉学術振興交付金選考分科会	N317
15.7	学生見学会実行分科会	N317
15.8	ものづくり教育を考える会実行分科会	N317
15.9	連続鑄造技術史編集小委員会	N317
15.10	外国人研究員奨学小委員会	N317
16.	国際交流委員会	N317
17.	研究委員会	N317
17.1	研究テーマ小委員会	N317
17.2	金属プロセス専門小委員会	N317
17.3	海洋材料小委員会	N317
17.4	科研費研究分科会	N318
17.5	製鋼研究連絡会	N318
18.	鉄鋼研究振興助成金選考委員会	N318
19.	国際鉄鋼技術委員会	N318
20.	鉄鋼技術情報センター運営委員会	N318
	<参考>	
1.	鋼材標準委員会	N318
2.	鋼材規格三者委員会	N318
<b>II.</b>	<b>会員</b>	N318
1.	名誉会員	N318
2.	会員の異動	N318
<b>III.</b>	<b>役員および委員</b>	N319
1.	理事	N319
2.	監事	N319
3.	評議員	N319
4.	支部長	N320
5.	常務委員	N320
6.	企画委員	N320
7.	拡大リストラ80協議会委員	N320
8.	境界領域委員	N320
9.	編集委員	N320
10.	国際交流委員	N320
12.	研究委員	N320
13.	鉄鋼研究振興助成金選考委員	N320
14.	国際鉄鋼技術委員	N320
<b>IV.</b>	<b>一般会計による事業</b>	N320
1.	刊行事業	N320
1.1	鉄と鋼	N320
1.2	ISIJ International	N320
1.3	材料とプロセス	N320
1.4	図書の刊行	N320
2.	講演大会事業	N320
2.1	講演大会	N320
2.2	特別講演会	N321
2.3	講演大会見学会	N321
3.	育成事業	N321
3.1	知的財活用	N321
3.2	西山記念技術講座	N321
3.3	白石記念講座	N321
3.4	鉄鋼工学セミナー	N321
3.5	鉄鋼アドバンスセミナー	N321
3.6	学生見学会	N321
3.7	ものづくり教育を考える会	N321
3.8	外国人研究員奨学制度	N321
3.9	他学協会との共催、協賛、後援による事業	N321
4.	国際交流事業	N322
4.1	第1回世界製鉄会議	N322
4.2	材料電磁プロセス国際会議	N322
4.3	二国間シンポジウム	N322
4.4	小規模国際会議	N322
4.5	国際会議・二国間シンポジウム・ 小規模国際会議準備状況	N322
4.6	その他の国際交流	N322
5.	技術調査・研究事業	N322
5.1	共同研究会	N322
5.2	特基研究会	N324
5.3	基礎研究会	N324
5.4	日本金属学会との共同研究	N324
6.	技術情報事業	N324
6.1	図書・資料事業	N324
6.2	情報業務事業	N324
6.3	著作物等の頒布	N324
7.	標準化事業	N324
	<参考>	
1.	標準規格作成事業	N324
2.	ISO幹事国事業	N325
3.	標準物質	N325
<b>V.</b>	<b>特別会計による事業</b>	N325
1.	特別資金会計による事業	N325
1.1	表彰	N325
1.2	湯川メモリアルレクチャー	N326
1.3	石原・浅田研究助成金	N326
1.4	日向方斉学術振興交付金	N327
1.5	浅田記念文庫の寄贈	N327
1.6	鉄鋼研究振興助成金	N327
2.	補助金等事業会計による事業	N327
2.1	日本圧力容器研究会議	N327
2.2	ネットネストシティー研究	N327
<b>VI.</b>	<b>支部</b>	N328
1.	事業	N328
1.1	北海道支部	N328
1.2	東北支部	N328
1.3	北陸支部	N329
1.4	東海支部	N330
1.5	関西支部	N330
1.6	中国四国支部	N331
1.7	九州支部	N332
2.	収支決算	N333
<b>VII.</b>	<b>平成6年度収支決算</b>	N334
<b>VIII.</b>	<b>総務事項</b>	N341
<b>IX.</b>	<b>寄付金の受入れ</b>	N341

## I. 会議

### 1. 総会

第79回通常総会。H6.3.30。東京工業大学講堂。  
議事

- (1)平成5年度事業報告ならびに収支決算承認可決
- (2)平成6年度事業計画ならびに収支予算承認可決
- (3)理事、監事ならびに評議員選挙の件一別記のとおり当選就任

### 2. 評議員会

2回開催。

・平成6年度第1回評議員会(書面審議)。H6.7.29。  
議事

(1)理事補欠選挙

・平成6年度第2回評議員会。H7.2.24。

議事

- (1)平成6年度事業報告ならびに収支決算
- (2)平成7年度事業計画ならびに収支予算
- (3)次期理事、監事ならびに評議員候補者推薦
- (4)名誉会員推挙
- (5)定款施行細則等の全面改正

### 3. 理事会

6回開催。H6.3.30、6.3.31、6.7.22(書面審議)、6.10.9、H7.1.27(書面審議)  
7.2.24。一般会務およびリストラ80につき協議。(新体制における総合企画会議および学会部門、生産技術部門の組織と運営、中期計画、事務局体制等。詳細は「鉄と鋼」参照(全般：Vol.80, No.12, N621~624、学会部門 Vol.80, No.11, N577~581、Vol.81, No.2, N71~73、生産技術部門：Vol.81, No.1, N29~33)。

### 4. 特別資金運営委員会

H7.1.20。表彰ならびに事業資金、渡辺義介記念資金・西山弥太郎記念資金・湯川正夫記念資金・浅田長平記念資金・白石元治郎記念資金・日方向学術振興資金・外島健吉記念資金・研究振興資金および鉄鋼研究振興資金のH6年度事業および決算ならびにH7年度事業計画および予算案を審議。

### 5. 名誉会員候補選考委員会、次期役員候補選考委員会

2回開催。H6.10.9、H7.1.20。名誉会員の選考。  
H7.1.20。次期理事、監事、評議員の選考。

### 6. 日本学術会議会員候補者選考委員会 本年度なし

### 7. 一般表彰選考委員会

2回開催。H6.7.12、H7.1.20。本会表彰の受賞者の選考(V.1.1参照)。

### 8. 特別表彰選考委員会

2回開催。H6.10.9、H7.1.20。俵賞、製鉄功労賞受賞者の選考。

### 9. 委員長会議

H6.10.3。リストラ80検討状況報告。H7年度予算編成方針の審議。

### 10. 支部長会議

2回開催。H6.3.31、6.10.9。各支部による事業報告・事業計画、「ものづくり教育を考える会」、外国人研究員奨学制度について本部から支部への協力依頼。リストラ80を踏まえた上で、支部活動のあり方について意見交換。本部のリストラより1年遅らせてH8年度に改革する

ことで合意。

### 11. 企画委員会 (委員長:佐野 信雄) 4回開催

H7年度の新体制への移行に鑑み、「リストラ80」の一環として運営・委員構成等の改革の一部を前倒し実施。「リストラ80」事項の検討企画及び予算等について協議。

#### 11.1 拡大リストラ80協議会(委員長:佐野 信雄)6回開催

リストラ80協議会(H6.1~H6.3)を拡大して発足。新体制に向けた総合企画及び学会・生産技術両部門の具体案・中期計画・事務局体制の検討、および部門間の調整と、現行活動との調整協議。

#### 11.2 企画小委員会(委員長:半明 正之)7回開催

H6.4.1委嘱 半明正之、王寺睦満、大中逸雄、鹿子木公春、岸輝雄、小林邦彦、田中淳一、丸川雄浄、三島良直、宮田隆司

新企画準備小委員会(H5.11~H6.3)、会計分科会、庶務分科会を統合再編して発足。学会部門・生産技術部門以外の「リストラ80」および協会活動全般に関する企画を立案、拡大リストラ80協議会・企画委員会へ提案。

体系的で効果的な助成活動を目指して、助成準備WG(主査:北村卓夫、H6.2~H6.11)に引き続き助成準備委員会(委員長:藤原俊朗、H6.11~H7.3)を発足させ、次世代鉄鋼奨学助成を含む新体制下での助成事業の具体案を立案。

#### 11.3 学術準備小委員会(委員長:馬越 佑吉)7回開催

新体制における学会部門の活動内容、組織と運営に関する具体案を立案、拡大リストラ80協議会へ提案。「高温プロセス」「社会鉄鋼工学」「計測・制御・システム工学」「創形創質工学」「材料の組織と特性」の5つの専門分野別部会発足の準備を行うため、それぞれの専門分野別部会に対応した「準備会」を発足(「鉄と鋼」Vol.80, No.9, N476参照)。さらに論文誌編集委員会準備会、会報編集委員会準備会、講演大会協議会準備会も設置。部門の中期目標、H7年度の事業計画案および部門予算案を策定。

#### 11.4 技術準備小委員会(委員長:田中 實)8回開催

新体制における生産技術部門の活動内容、組織と運営に関する具体案を立案。活性化と効率性の観点から現「共同研究会」の部会、分科会の統廃合案、技術創出機能の強化に関する具体案を立案、拡大リストラ80協議会へ提案。部門の中期目標、H7年度の事業計画案、および部門予算案を策定。

#### 11.5 表彰奨励推薦分科会(主査:半明 正之)7回開催

他団体からの依頼による表彰奨励候補の選考。なお、本年度受賞したものは次のとおり。

第26回 市村産業賞(貢献賞)

住友金属工業㈱「広幅アルミニウム/ステンレス鋼クラッドコイルの開発」

第25回 石川賞

新日本製鐵㈱「大規模設備診断・故障復旧システムの開発」

#### 11.6 創立80周年記念事業小委員会(小委員長:半明 正之)2回開催

H6.3.11、6.9.26。懸賞作文、鉄鋼学術叢書、「鉄と鋼」記念特集号、予算案について審議。

H6. 8. 1 委嘱 半明 正之

H6. 9.14 解嘱 新井 哲三 委嘱 加藤 滋

H6. 9.21 解嘱 近藤 嘉一

H6.10.14 解嘱 篠田 研一 委嘱 篠田 城吉

### 12. 金属・鉄鋼協議会

H6.9.14。金属系3学協会のシンポジウム開催予定、第0総合分科会新設(金属学会)、リストラの概況および学問分野の取組み、高校生向けパンフレットの共同製作についてを協議。

### 13. 境界領域委員会 (委員長:柴田 俊夫) 3回開催

各分科会において、研究調査活動、他の学協会との共同活動、総合的解説書の作成準備、シンポジウムの開催などを実施。また、H7年度

からの新体制における各分科会の位置付けを決定。金属間化合物共同研究会分担金として50万円を分担。

#### 13.1 境界領域企画分科会(主査:中岡 一秀)2回開催

萌芽・境界領域分野の投稿論文査読、プログラム編成に関する作業、各分科会の情報交換などを実施。第127、128回講演大会において、境界領域での全体投稿件数85件。

#### 13.2 チタン分科会(主査:河部 義邦)4回開催

研究調査活動、講演大会における金属学会との会場調整、特別講演、外国人研究者の招待講演などを実施。春秋講演大会投稿件数59件。

#### 13.3 材料電磁プロセス分科会(主査:浅井 滋生)2回開催

研究発表会の実施、EPM'94への参加・協力。

#### 13.4 プラズマプロセス分科会(主査:牛尾 誠夫)2回開催

研究発表会、解説書作成。

#### 13.5 自動車用材料分科会(主査:武智 弘)4回開催

招待講演大会、自動車技術会と提携した自動車用材料共同調査研究会を結成し、テーマを決めて共同シンポジウムを秋の講演大会で実施。

#### 13.6 粉末焼結分科会(主査:渡辺龍三)3回開催

研究報告会、招待講演など。春秋講演大会投稿件数11件。

### 1 4. 編集委員会 (委員長:小指軍夫) 5回開催

- 1) 俵論文賞 5件、澤村論文賞 3件を選考、理事会に答申。
- 2) Materials Information からの共同事業(刊行物情報)申入れに関して編集委員会としては受け入れる方向で検討

#### 14.1 和文会誌分科会(主査:牧 正志)11回開催

- 1) 費用節減策として用紙の軽量化
- 2) 現場技術報告記事の体裁を整えるため、フロッピーディスクによる投稿に変更

#### 14.2 欧文会誌分科会(主査:佐野 正道→馬越 佑吉)11回開催

- 1) International Advisory Board メンバー17名のうち6名の交替
- 2) 国際会議組織委員会発行のProceedingsに代えてISIJ Internationalの特集号として刊行していくことを決定。
- 3) H7年の特集号は3冊
  - (1) Recent Advances in Solidification(6月)、
  - (2) New Aspects of Microstructure in Modern Low Carbon High Strength Steels(8月)
  - (3) Recent Advances in Welding(10月)
- 4) 発送費節減のため郵政省に第三種郵便物認可を申請、認可(H7年1月号より実施)。

#### 14.3 講演大会分科会(主査:梶岡 博幸→丸川 雄浄)6回開催

- 1) 第127,128回講演大会の企画・実施、第129回講演大会討論会テーマの決定
- 2) 「材料とプロセス」Vol. 7 No.1~6を発行
- 3) プログラム編成会議の簡素化、委員構成の縮小、会議時間の短縮。
- 4) 新体制発足に伴うH7年度春季講演大会より実施する事項
  - ・参加費を徴収する。参加費は「材料とプロセス」に含む。
  - ・「材料とプロセス」は予約者も含め講演大会当日配布とする。
  - ・H7年4月発足の専門分野別部会に準じる講演大会の講演申込キーワードを変更

#### 14.4 俵論文賞選考小委員会(委員長:牧 正志)

候補論文42件を選考結果で5件に絞り、編集委員会に諮る

#### 14.5 澤村論文賞選考小委員会(委員長:馬越 佑吉)

候補論文32件を選考結果で3件に絞り、編集委員会に諮る

#### 14.6 機械翻訳推進分科会(主査:石原 慶一)

㈱日鉄技術情報センター(翻訳実施機関)と富士通㈱(ATLASシステム)で分科会を構成し事業推進に当たってのシステム検討とそのPRとして「鉄と鋼」の2号(4,8月)にわたりサービス体制について掲載し、東工大、九大の講演大会にてデモンストレーションを実施

#### 14.7 「鉄と鋼」創立80周年記念特集号編集小委員会(委員長:小指 軍夫)

創立80周年記念特集号用の原稿審査、原稿調整ならびにISIJ情報ネットワーク記事の調整を行い、最終頁数として330頁の予定

### 1 5. 育成委員会 (委員長:遠藤 孝雄) 3回開催

#### 15.1 育成企画小委員会(小委員長:永田 和宏) 2回開催

「学生会員の海外研修」、「教科書編纂」、80周年記念事業の一環として「懸賞作文」を企画。

#### 15.2 知的財小委員会(小委員長:増子 昇) 1回開催

80周年記念事業の一環として「叢書 鉄鋼技術の流れ」第1シリーズ全10巻の発刊予定を決定。第1号を発刊。

#### 15.3 技術講座小委員会(小委員長:河部 義邦) 4回開催

西山記念技術講座2テーマ4回、白石記念講座2テーマ3回開催。H7年度のテーマを次のとおり決定。

##### (1) 西山記念技術講座

第157・158回「21世紀のインフラを支える条鋼製品とその製造技術」

第159・160回「厚板・接合」

##### (2) 白石記念講座

第29・30回「21世紀に向けての新材料開発の潮流」

第31回 「鉄鋼業における情報化戦略」

#### 15.4 鉄鋼工学セミナー小委員会(小委員長:徳永 洋一) 1回開催

第20回鉄鋼工学セミナーの実施、第21回(H7年度)の計画。

#### 15.5 鉄鋼工学アドバンスセミナー小委員会(小委員長:阿部 光延) 3回開催

第2回アドバンスセミナーの計画・実施。第3回(H7年度)の計画。

#### 15.6 日方学術振興交付金選考分科会(主査:根本 實) 2回開催

第22、23回学術振興交付金対象者の選考を行い、5名を選定。

#### 15.7 学生見学会実行分科会(主査:雲丹亀 泰和) 4回開催

第9回学生見学会の実施、第10回の計画。

#### 15.8 ものづくり教育を考える会実行分科会(小委員長:井口 泰孝) 3回開催

H6年度「製鉄所見学と鉄鋼技術者・研究者との懇談会」の実施、H7年度の計画。新企画の検討。

#### 15.9 連鑄技術史編纂小委員会(小委員長:郡司 好喜) 3回開催

各章間の調整、先行章第二次原稿の査読。

#### 15.10 外国人研究員奨学小委員会(小委員長:遠藤 孝雄) 1回開催

H6年度外国人研究員の招聘者1名を決定。

### 1 6. 国際交流委員会 (委員長:富浦 梓)

- 1) 国際会議、二国間シンポジウム、小規模国際会議開催計画の検討
- 2) 日本・中国鉄鋼学会協議の協定書改訂
- 3) 国外関係学協会との学術、技術交流の推進

### 1 7. 研究委員会 (委員長:宮崎 亨)

5月と9月の2回開催。過去に2回(H2年度、H4年度)実施した研究環境実態調査の第3回目のH6年度発足は見送り、H7年度からの新体制に大学の研究環境の問題点の明確化を期待して引継ぎ。合金状態共同研究会は金属学会、鉄鋼協会、資源・素材学会と金属関係の企業11社が支援して、第1期(S61年に発足、H2年度終了)、第2期(H3年度に発足、H7年度終了予定)と活動中であり、本会として第3期も引き続き支援。

#### 17.1 研究テーマ小委員会(小委員長:羽田野 道春)1回開催

H7年度実施の研究テーマの公募と選定。応募件数:8件、選定件数:特基研究会共同研究テーマ;1件、基礎研究会テーマ;学術、技術の両準備小委員会に2件を推薦し、テーマ化可否の検討を要請。石原・浅田研究助成テーマ;2件(研究テーマ名、研究者名は会誌H7年1月号参照)。

#### 17.2 金属プロセス専門小委員会(小委員長:浅井 滋生)

第1回をH6年7月に開催。設立目的である日本学術会議金属工学研究連絡委員会金属プロセス専門委員会の活動を支援して行くための具体的な活動について協議。金属プロセス専門小委員会に参加した8学協会が、催しを行う場合は、可能な限り日本学術会議金属工学研究連絡委員会との共催とすること。

#### 17.3 海洋材料小委員会(小委員長:渡辺 祐一)

開催なし。関係7学協会共催の海洋工学連絡会／海洋工学パネルへの対応で活動して来たが、海洋工学連絡会の参加ニーズが薄れて来たため、H6年7月に海洋工学連絡会を脱会。小委員会は廃止。

**17.4 科研費研究分科会**(主査：佐久間 健人)

第9回をH6年6月に開催。H7年度文部省科学研究費補助金の第1段審査委員候補者と第2段審査委員候補者を選考し、鉄鋼協会推薦候補者として幹事学協会へ通知。本会が幹事学協会を務める細目「金属生産工学」に関しては協議学協会へ推薦依頼の案内と取りまとめ等を実施。

**17.5 製鋼研究連絡会**(座長：佐野 信雄)

製鋼の現場技術者と大学を含む研究者との意思の疎通を図り、製鋼の将来技術の基盤となる研究テーマについて討議。H6年7月に、H7年度に応募する研究テーマ「超清浄鋼製造のための基礎研究」の応募内容を書面審議し、製鋼研究連絡会として応募。

**18. 鉄鋼研究振興助成金選考委員会** (委員長：北村 卓夫)

幹事会2回、委員会1回開催。第4回の助成金(H7年度実施)は72件の応募があり20件を選定。H7年度研究助成総額は4160万円。(研究テーマ名、研究者名は会誌H7年1月号参照)

**19. 国際鉄鋼技術委員会** (委員長：富浦 梓) 2回開催

- 1) 第26回技術委員会定例会議(リオデジャネイロ)の出席報告。
- 2) 第28回IISI年次総会(コロラドスプリングス)のパネル討議テーマ、内容の検討準備。
- 3) 次回のパネル討議テーマ検討および新規スペシャルスタディテーマ、技術交流セッションテーマについて討議。
- 4) 「鋼板梱包・搬送の自動化技術」スペシャルスタディチームの日本ミル見学。

**20. 鉄鋼技術情報センター運営委員会** (委員長：岸 輝雄) 1回開催

H6.9.27(書面審議)、H5年度の図書資料業務の大幅縮小決定に伴う具体策をH6.9.19のリストラ80協議会に諮り、運営委員会を経て10.9開催の理事会で下記(1)～(4)項が決定。これに伴い図書・資料室ならびに情報業務室を合体、技術情報室とし継続業務を遂行。尚、図書・資料室が保管していた図書、資料は、千葉工業大学附属図書館に6.26移管、会員への閲覧、複写サービスは、9.20より実施。

(1) 図書・資料業務

- 1) 共同研究会関係資料の管理業務
  - ① 共研資料保管(継続)
  - ② マイクロフィッシュ作成、頒布(継続)
  - ③ マイクロフィッシュによる閲覧(中止)
  - ④ 索引誌の作成、頒布(中止)
- 2) 学振資料のマイクロフィッシュ作成、頒布(中止)
- 3) 「鉄と鋼」[ISIJ International]「材料とプロセス」のロールフィルム作成、頒布(継続)
- 4) 図書等の頒布(継続)
- 5) 図書資料の移管先と閲覧、複写サービス(千葉工大)

(2) 情報業務

JICSTから受託の金属関係技術文献の抄録・校閲(H7年度は受託件数を従来の半減、H8年度以降は受託業務を中止)

- (3) 部会の新設 生産技術部門の分野別交流研究の1部会として情報管理部会を設置。そのための準備委員会を構成。
- (4) 協会が発生する情報への対応は、学会部門、生産技術部門で継続検討。

<参考>

**1. 鋼材標準委員会** (委員長：服部 正幸) 4回開催

標準化事業の鉄鋼連盟への統合に伴い、旧鉄鋼標準化センター運営委員会と旧標準化委員会を合併して、傘下に幹事会と12分科会を擁する新委員会とし、鉄鋼標準化事業推進中長期計画に基づくH6年度事業

の推進、鋼材規格の整備・標準物質事業の再構築等プロジェクトの発足、ISO幹事国業務としてTC17総会、TC67総会、TC17/SC1国際会議等を運営。

**2. 鋼材規格三者委員会** (委員長：佐久間 健人) 2回開催

組織変更と同時に委員会名を変更。工業技術院より委託された鋼材関係20件を審議、H7年3月に報告書を提出予定。なお国際整合性の調査、改正、確認、廃止の要否などの草案作成は鋼材標準委員会JP11、2、3、45、6分科会、JE3及び5分科会が実施。

**II. 会員**

**1. 名誉会員**

坂尾 弘、中村 正久、George Kraussを平成6年第79回通常総会において推挙。

**2. 会員の異動**

	名誉	賛助	維持	外国	正	学生	計
H6.2.28現在	68	46	220	554	9,022	265	10,175
入会	1		4	117	740	170	1,032
転格	2			26	71	4	103
		-1		-19	-29	-54	-103
退会			-7	-18	-1,114	-50	-1,189
死亡退会	-2	-4			-22		-28
H7.2.28現在	69	41	217	660	8,668	335	9,990

### Ⅲ. 役員および委員

#### 1. 理事

H6.3.30第79回通常総会において任期満了理事の改選を行い、次のとおり当選就任。

(任期2年)

青柳 桂一 井口 泰孝 石原 弘二 伊藤 雅治 佐野 信雄  
 澤村 榮男 柴田 俊夫 島田 仁 塚田 尚史 中村 和生  
 根本 實 藤原 俊朗 御園生一長 宮田 隆司 三芳 純

なお、留任の理事は下記のとおり。

石井 邦宜 遠藤 孝雄 河部 義邦 木原 諄二 副島 利行  
 田中 實 野田 忠吉 長谷川義彦 日西 弘明 藤井 資也  
 堀 珊吉 牧 正志 宮崎 亨 森 勉 八木順一郎

H6.3.30理事会において、互選により次のとおり当選就任。

会 長 佐野 信雄  
 副 会 長 田中 實、根本 實  
 専務理事 島田 仁

なお、理事職務分掌は次表のとおり。

○ 委員長

	留任 理事	新任 理事
会 長		佐野 信雄(東 大)
副 会 長	田中 實(新日鐵)	根本 實(九 大)
専務理事		島田 仁(鉄鋼協会)
企画委員会	遠藤 孝雄(横国大) 木原 諄二(東 大) 田中 實(新日鐵) 副島 利行(神 鋼) 野田 忠吉(住 金) 日西 弘明(中 山) 藤井 資也(合 鉄) 堀 珊吉(鉄 連) 宮崎 亨(名工大) 八木順一郎(東北大)	青柳 桂一(通産省) 石原 弘二(トビー) ○佐野 信雄(東 大) 根本 實(九 大) 三芳 純(川 鉄)
境界領域委員会	遠藤 孝雄(横国大) 河部 義邦(金材研)	○柴田 俊夫(阪 大)
編集委員会	遠藤 孝雄(横国大) 木原 諄二(東 大) 野田 忠吉(住 金) 牧 正志(京 大) 森 勉(東工大) 八木順一郎(東北大)	柴田 俊夫(阪 大) 塚田 尚史(日 鋼) 宮田 隆司(名 大)
育成委員会	○遠藤 孝雄(横国大) 河部 義邦(金材研) 藤井 資也(合 鉄)	井口 泰孝(東北大) 中村 和生(日 新) 藤原 俊朗(新日鐵)
国際交流委員会	木原 諄二(東 大) 堀 珊吉(鉄 連) 森 勉(東工大)	伊藤 雅治(NKK)
研究委員会	石井 邦宜(北 大) 河部 義邦(金材研) 木原 諄二(東 大) 長谷川義彦(大 同) ○宮崎 亨(名工大)	青柳 桂一(通産省) 澤村 榮男(日金工) 御園生一長(鋼 鉄) 宮田 隆司(名 大)
鉄鋼研究振興助成選考委員会	堀 珊吉(鉄 連)	
国際鉄鋼技術委員会		伊藤 雅治(NKK)
鉄鋼技術情報センター 運営委員会	藤井 資也(合 鉄) 八木順一郎(東北大)	

H6.6.29 理事辞任 伊藤 雅治、三芳 純

H6.7.5 理事辞任 青柳 桂一

H6.7.29 理事就任 小島 彰、澁谷 悌二、中西 輝行

小島理事は企画・研究、澁谷理事は国際交流・国際鉄鋼技術、中西理事は企画を分掌。

#### 2. 監事

H6.3.30第79回通常総会において任期満了監事の改選を行い、近藤嘉一当選就任。なお、留任は川上 正博。

#### 3. 評議員

H6.3.30第79回通常総会において任期満了の評議員の改選を行い、次のとおり当選就任。

(133名)

相川賢太郎 浅井 滋生 阿部 芳平 荒木 透 井口 義章  
 石黒 隆義 井上 道雄 岩崎 茂夫 植田 守昭 上村 眞彦  
 馬越 佑吉 江見 敏夫 江本 寛治 及川 洪 王寺 睦満  
 大中 逸雄 大西 敬三 大庭 浩 大橋 徹郎 大森 尚  
 大森 正男 大森 康男 大和田国男 岡本 介三 奥野 嘉雄  
 小倉 貞一 淡河 範行 小野 陽一 甲斐 幹 柏原 正明  
 片田 哲也 加藤 健三 加藤 健 神谷 春樹 川合 保治  
 川並 高雄 木内 学 岸 輝雄 北村 卓夫 木村 達也  
 久能 一郎 倉内 憲孝 桑原 達朗 河野 拓夫 小指 軍夫  
 小島 陽 小林 和三 小林紘二郎 小谷野敬之 是松 恭治  
 三枝 誠 斎藤 喜一 佐伯 達夫 坂 公恭 阪本 英一  
 佐藤 文夫 三宮 章博 十見 俊作 白松 爾郎 鈴木 洋夫  
 角田 方衛 関 和平 瀬戸 浩蔵 高橋 國展 田口 昇  
 竹内 肇 竹内 久彌 竹田 正巳 館 充 館野 万吉  
 田中 稔 田中 義巳 谷井 充 谷川 正 谷口 晃造  
 谷口 安祥 谷野 満 塚本富士夫 辻 義文 寺門 良二  
 富浦 梓 鳥海 巖 中澤 吉 永野 辰雄 中村 正久  
 中山 豊 鍋丁 雍彦 新山 英輔 西澤 泰二 野間吉之介  
 服部 正幸 林 安徳 林 豊 原 貞夫 原 茂太  
 半田 正之 萬谷 志郎 平野 治男 弘田 昇 福島 久哲  
 藤井 義弘 藤原 菊男 細井 祐三 細木 繁郎 堀田 久之  
 梶井 明 増子 昇 松川 保雄 松下 幸雄 松田 常美  
 三浦 春松 美坂 佳助 三島 良績 三村村外喜男 三井 康平  
 満尾 利晴 三好 俊吉 向井 楠宏 村田 哲也 森 一美  
 森 克巳 森 甲一 森 隆資 盛 利貞 森田善一郎  
 諸橋 晋六 八木 直彦 八木 靖浩 安江 幹  
 柳澤 忠昭 山鹿 素雄 山田 浩蔵

なお、留任の評議員は下記のとおり。

荒木 孝雄 池島 俊雄 池高 聖 石川 明 石野 亨  
 磯 平一郎 一瀬 英爾 井戸 一朗 伊藤 慶典 井上 正文  
 今井 卓雄 上杉 年一 上田 仁 上野 朝生 牛山 博美  
 江見 俊彦 大岡 耕之 大須賀立美 大谷 正康 大橋 正昭  
 大庭 半次 大山 龍一 岡 宗雄 岡部 雄吉 小口 醇  
 小原 信二 鍵本 潔 加藤 弘 香取 正守 金井 務  
 上城 太一 川田 敏郎 川本 信彦 菊池 實 岸田 壽夫  
 北岡 隆 木下 亨 君嶋 英彦 京極 哲朗 草川 隆次  
 國岡 計夫 熊谷 直彦 倉重 輝明 栗田 満信 神崎 昌久  
 甲谷 知勝 小島 浩 小林 一造 小林 俊郎 斎藤 恒夫  
 斎藤 達 斎藤 好弘 才野 光男 坂尾 弘 佐久間健人  
 雀部 實 佐野 正道 品川 丞 新宮 秀夫 新宮 康男  
 城野 裕 杉田 清 杉原 弘祥 高井 岩男 田中 良平  
 塚田 浩 濤崎 忍 堂山 昌男 徳田 昌則 土手 彬  
 友田 陽 豊田 茂 永井 親久 中江 秀雄 中村 忻治  
 中川 龍一 仲田 哲朗 永田 和宏 中野 修行 中村 成具  
 中村 為昭 南雲 道彦 奈古屋嘉茂 新居 和嘉 布村 成具  
 瀬津 行雄 萩原 康彦 羽田野道春 蜂谷 整生 羽鳥 幸男  
 原田 利夫 久松 敬弘 平井 信恒 深見 泰三 福永 秀春  
 不破 祐 堀川 一男 松野 浩二 丸橋 茂昭 光武 紀芳  
 宮川 保重 毛利 良一 山内 睦文 山口 正治 山中 卓  
 山本 全作 山本 俊郎 横井 信司 横川 敏雄 吉川 欣彌  
 吉田 豊信 吉原 每文 吉村 精仁 和田 淑弘

評議員 吉川 欣彌君 H6.2.3辞任、大和田国男君 H6.4.1辞任  
 十見 俊作君 H6.9.12逝去 八木 靖浩君 H7.2.14逝去  
 大庭 半次君、川本 信彦君、才野 光男君、深見 泰三君  
 維持会員退会により解嘱

#### 4. 支部長

支部名	退任	新任	交替年月日 (理事会承認)
東 北	谷野 満	江見 俊彦	H6. 3.16
東 海	藤原 俊朗	宮崎 亨	H6. 3.31
関 西	高井 岩男	塩谷 樫夫	H6. 3.31
北 陸	竹内 淳	石黒 隆義	H6.10. 9
中国 四 国	君嶋 英彦	今井 卓雄	H6.10. 9

#### 5. 常務委員

理事会出席者変更に伴い、H6.3.31の理事会で常務委員を解嘱。  
 H6. 3.31 解嘱 小指 軍夫、山本 全作、藤原 俊朗、佐伯 正夫、  
 半明 正之

#### 6. 企画委員

H6. 4. 1 委嘱 三芳 純、弘田 昇、半明 正之、根本 實、  
 新居 和嘉、鈴木 朝夫、島田 仁、馬越 佑吉、  
 石原 弘二、青柳 桂一  
 H6. 4.21 委嘱 鍵本 潔  
 H6. 7.28 解嘱 青柳 桂一、三芳 純  
 H6. 7.29 委嘱 小島 彰、中西 輝行

#### 7. 拡大リストラ80協議会委員

H6. 4. 1 委嘱 佐野 信雄、田中 實、根本 實、半明 正之、  
 馬越 佑吉、三芳 純、八木順一郎、副島 利行、  
 野田 忠吉、島田 仁  
 H6. 7.28 解嘱 三芳 純  
 H6. 7.29 委嘱 中西 輝行

#### 8. 境界領域委員

H6. 3.22 解嘱 河合 伸泰 委嘱 柳 義親  
 H6. 4. 5 解嘱 山口 正治 委嘱 中村 森彦  
 H6. 4. 7 解嘱 岸 輝雄 委嘱 柴田 俊夫  
 H6. 4.15 委嘱 武智 弘、渡辺 龍三  
 H6. 4.18 解嘱 新居 和嘉、吉田 豊信  
 H6. 4.19 委嘱 中岡 一秀  
 H6. 7. 1 解嘱 垣生 泰弘 委嘱 荒谷 復夫  
 H6.10.19 解嘱 山田 文雄 委嘱 夫馬 辰郎

#### 9. 編集委員

H6. 3.31 解嘱 佐野 正道、加藤 雅治、梶岡 博幸  
 H6. 4. 1 委嘱 馬越 佑吉、宮沢 憲一、丸川 雄浄  
 H6. 7.31 解嘱 石川 圭介  
 H6. 8. 1 委嘱 月橋 文孝

#### 10. 育成委員

H6. 3.10 委嘱 遠藤 孝雄  
 H6. 4. 1 委嘱 河部 義邦、増子 昇  
 H6. 5.25 解嘱 萬谷 志郎 委嘱 根本 實  
 H6. 6. 6 解嘱 山田 文雄 委嘱 雲丹亀泰和  
 H6. 9.20 解嘱 徳永 洋一 委嘱 木原 諄二

#### 11. 国際交流委員

H6. 3.22 解嘱 松岡 滋樹 委嘱 椎名堅太郎  
 H6. 6. 3 解嘱 柳 義親 委嘱 大鈴 克二

H6. 6. 3 解嘱 新居 和嘉 委嘱 鈴木 洋夫

#### 12. 研究委員

H6. 5. 9 委嘱 浅井 滋生

#### 13. 鉄鋼研究振興助成金選考委員

H6. 9.30 解嘱 篠田 研一 委嘱 肥後 裕一  
 H6.11. 4 解嘱 塚田 尚史 委嘱 下 薫

#### 14. 国際鉄鋼技術委員

H6. 2. 7 解嘱 松岡 滋樹 委嘱 椎名堅太郎  
 H6. 8.10 解嘱 萩原 康彦 委嘱 加藤 滋

### IV. 一般会計による事業

#### 1. 刊行事業

- 1.1 鉄と鋼 第80年3号～第81年2号 12冊発行  
 投稿論文 143件(掲載134件 801頁)  
 解説等 39件(285頁)  
 現場技術報告 38件(158頁)  
 ISIJ情報ネットワーク 578頁 合計 1,822頁
- 1.2 ISIJ International Vol.34 No.3～ Vol.35 No.2 12冊発行  
 投稿論文 188件(掲載123件 1,041頁)  
 掲載Review 8件(114頁) 合計 1,155頁
- 1.3 材料とプロセス  
 第127回(春季)講演大会Vol.7 No.1～3ならびに  
 第128回(秋季)講演大会Vol.7 No.4～6を発行
- 1.4 図書の刊行
- 1) 会員名簿 '93,94,95年版
  - 2) 鉄鋼リサイクル白書ー地球環境と共存する鉄鋼ー
  - 3) 極低炭素鋼のベイナイト組織と変態挙動に関する最近の研究
  - 4) 変形特性の予測と制御
  - 5) Ti-6Al-4V合金の高サイクル疲労に関する共通試験成果報告書
  - 6) チタンおよびチタン合金中の拡散データ
  - 7) 金属材料のクリープ破断データ及び疲労寿命データ解析ソフトウェアの標準化
  - 8) 圧延技術・圧延理論の発展と将来への潮流
  - 9) 現場技術者のための鋼の脱炭層深さ標準写真集
  - 10) 鉄鋼の初期凝固
  - 11) ミクロ組織の非破壊計測技術に関する最近の研究
  - 12) 圧延ロールの技術はどこまで進歩したか
  - 13) 叢書 鉄鋼技術の流れ-第7巻 低合金鋼-
  - 14) 鋼中介在物利用による組織と材質研究部会報告書

#### 2. 講演大会事業

##### 2.1 講演大会

- 2.1.1第127回講演大会 H6.3.30～4.1 東京工業大学 大岡山キャンパス
- 1) 講演件数と会場数 702件 18会場
  - 2) 討論会テーマ
    - ①高炉炉内解析とプロセス物性②鋼の中心部欠陥改善技術の現状と課題③厚板および熱延ラインにおける鋼板の冷却制御技術④気相コーティングによる皮膜構造と特性⑤ごみ焼却プラント用材料における高温腐食問題⑥橋梁における材料および製作技術の課題⑦耐熱強靱チタン研究部会 疲労・物性WG成果報告会⑧循環性元素分離部会 第2回中間報告会⑨製鉄技術検討会シンポジウム「魅力ある製鉄技術を求めて」

3) 学生ポスターセッション H6.3.31

第1回目 応募件数 20件、ベストオブポスターセッションとして3件を選定

4) 講演大会関連事業

- (1)懇親会 H6.3.30 目黒雅叙園 参加者413名
- (2)ISIJオープンパーティー H6.3.31 東工大生協食堂、参加者130名
- (3)支部長会議 H6.3.31 東工大百年記念館2階第1会議室 三好会長 他15名 ものづくり教育、リストラ80に向けての検討状況報告
- (4)鉄鋼・金属連絡会 H6.4.1 東工大百年記念館2階第1会議室 鉄鋼:小指編集委員長 他8名、金属:鈴木講演大会分科会運営委員長 他7名 第128回(九大)、第129回(東大)、H8年度の講演大会会場について  
なお、会の名称を「講演大会会場打合せ会」と変更決定

2.1.2第128回講演大会 H6.10.8~10.10 九州大学 箱崎キャンパス

- 1) 講演件数と会場数 753件 20会場
- 2) 討論会テーマ  
①反応伝熱面から見た石炭乾留技術②ステンレス、高合金鋼製錬技術の現状と今後の課題③鉄鋼製品の非破壊材質計測技術④冷間圧延における表面制御技術⑤新しい表面キャラクタリゼーション技術と鉄鋼表面への応用⑥高強度鋼の遅れ破壊⑦ステンレス鋼の耐候性部会報告会⑧自動車用材料シンポジウム「いま自動車材料に期待されていること」

3) 学生ポスターセッション

第2回目 応募件数 20件 ベストオブポスターセッションとして3件を選定

4) 講演大会関連事業

- (1)懇親会 H6.10.8 ホテル日航福岡 参加者410名
- (2)ISIJオープンパーティー H6.10.9 九大生協食堂 参加者100名
- (3)講演大会会場打合せ会 H6.10.9 九大工学部本館 第3会議室 鉄鋼:小指編集委員長他9名 金属:鈴木講演大会分科会運営委員長他5名 H7年、8年開催の講演大会会場の状況報告
- (4)支部長会議 H6.10.9 九大工学部本館 第3会議室 佐野会他13名 支部活動の今後のあり方について
- (5)鉄鋼金属幹部打合せ会 H6.10.10 九大工学部本館 第3会議室 佐野会長 他5名、金属学会 吉永会長他6名 支部の区割り、金属系三学協会共催シンポジウム開催、合金状態図ならびに金属間化合物の各研究会について

2.1.3分野別講演件数 ( )内は討論講演数

分野	第127回(春)	第128回(秋)
高温プロセス基盤技術	43	32
製鉄・還元	79 ( 9)	98 ( 9)
製鋼・製錬	76 (11)	65 ( 7)
casting・凝固	59	69
計測・制御・システム技術	38	34 ( 9)
分析評価・解析技術	18	16
加工・鋼構造	88 (10)	111 (11)
表面技術	42 (18)	47 (10)
萌芽・境界領域	28	21
材料の組織・性質	172 (11)	200 (14)
合計	643 (59)	693 (60)
	702	753

2.2 特別講演会

- 1) 湯川メモリアルレクチャー、H6.12.2 学士会館本館  
(1)鉄鋼の組織制御の現状および将来の展望と問題点 京都大学工学部教授 牧 正志  
(2)Heat Treated Martensitic Steels -Microstructural System for Advanced Manufacture- 名誉会員 John Henry Moore Professor Colorado school of Mines Dr.George Krauss
- 2) 渡辺義介賞 受賞記念講演 H6.3.30 「鋼材製造技術の進歩と将来の課題」 瀧崎 忍
- 3) 西山賞 受賞記念講演 H6.3.30 「物性物理的手法による鉄鋼製錬研究へのアプローチ」森田善一郎
- 4) 浅田賞 受賞記念講演 H6.10.8  
(1)「耐火物の半世紀」永井 敏  
(2)「鉄鋼の原子スペクトル分析」広川 吉之助

2.3 講演大会見学会

- 1) 工場見学会 H6.10.11  
1班 三菱重工業(株)長崎造船所、ソロバンドック  
2班 新日本製鐵(株)八幡製鉄所、TOTO(株)小倉工場
- 2) 同伴者見学会 H6.10.9 有田ポーセラリンクパークと有田焼窯元

3. 育成事業

3.1 知的財活用

「叢書 鉄鋼技術の流れ」第1号として松島 巖(NKK)著「低合金耐食鋼」を刊行。

3.2 西山記念技術講座

- (1) 第153・154回「鋼のスラブ連続製造技術の最近の動向」 (東京・JAホール) H6.5.16~17 記帳者171名 (広島・商工会議所)H6.6.1~2 記帳者148名
- (2)第155・156回「軟磁性材料の最近の進歩」 (東京・建築会館ホール) H7.2.1~2 記帳者106名 (大阪・科学技術センター)H7.2.8~9 記帳者 75名

3.3 白石記念講座

- (1)第26回「素材産業における研究開発」 (東京・化学会館ホール)H6.7.13 記帳者126名
- (2)第27・28回「普通鋼電気炉業のストラテジー」 (東京・JA第1会議室) H6.11.14 記帳者268名 (大阪・科学技術センター)H6.12.1 記帳者207名

3.4 鉄鋼工学セミナー

第20回鉄鋼工学セミナー

会期 H6.7.23~29  
場所 宮城県蔵王町 蔵王ハイツ  
受講生 製鉄コース15名、製鋼コース30名、材料コース84名、計129名

3.5 鉄鋼工学アドバンストセミナー

第2回鉄鋼工学アドバンストセミナー

会期 H6.11.9~11  
場所 神鋼浜の宮研修所  
受講生 製鉄コース6名、製鋼コース10名、材料コース8名、表面処理コース5名、計29名

3.6 学生見学会

第9回「理工科系学生のための研究所・製鉄所見学会」を3月14~17日の4日間全国18会場で実施。参加者は延べ746名。

3.7 ものづくり教育を考える会

「高等学校理数系教諭の製鉄所見学と鉄鋼技術者・研究者との懇談会」を4支部(東海、関西、中国・四国、九州)で実施。総参加者数72名。

3.8 外国人研究員奨学制度

第1期生として招聘者1名を決定。

3.9 他学会との共催、協賛、後援による事業

共催：6件、協賛：9件、後援：5件



#### 4. 国際交流事業

##### 4.1 第1回世界製鉄会議

H6.6.14-17(組織委員長：徳田 昌則)仙台・仙台国際センター、講演総数は110件、内開会講演3件、基調講演13件、参加者数日本125名、韓国、ドイツ、中国等21ヶ国110名計235名、3会場に分かれて実施。

##### 4.2 材料電磁プロセス国際会議

H6.10.25-28(組織委員長：浅井 滋生)名古屋・名古屋大学シンポジオン、講演総数は85件、内開会講演3件、基調講演8件、参加者数日本104名、ドイツ、フランス、米国等18ヶ国66名計170名。

##### 4.3 二国間シンポジウム

###### 第2回日本・カナダシンポジウム

H6.8.22-24(組織委員長：佐野 信雄)カナダ・トロント市シェラトンセンター

講演件数 日本、カナダ各12件計24件

参加者数 日本側12名、カナダ側70名計82名

##### 4.4 小規模国際会議

###### IF鋼の金属学国際フォーラム

H6.5.10-11(組織委員長：佐久間 健人)東京・アルカディア市ヶ谷、講演件数は30件、内招待講演15件、参加者数日本69名、韓国、米国等15ヶ国51名計120名

###### 低炭素高強度鋼の組織に関する国際シンポジウム

H6.11.29-12.1(組織委員長：荒木 透)東京・東京大学山上会館、講演件数は32件、内開会講演1件、基調講演5件、参加者数日本76名、米国、韓国等10ヶ国24名計100名

##### 4.5 国際会議・二国間シンポジウム・小規模国際会議準備状況

###### 1. 第4回高濃度窒素鋼国際会議(4th International Conference on High Nitrogen Steels-HNS' 95)

期日/場所/組織委員会委員長	H7.9.27-29/ホリデーイン京都/菊池 實
準備状況	H6.8月に2nd Circularを発行、国内外の関係者ならびに団体に配布。論文を募集

###### 2. 第1回世界製鋼会議(The First International Congress on Science and Technology of Steelmaking-ICS' 96)

期日/場所/組織委員会委員長	H8.4.22-24/千葉市 川崎製鉄株みやぎき倶楽部研修センター/佐野 信雄
準備状況	H6.10月に2nd Circularを発行、国内外の関係者ならびに団体に配布。論文を募集

###### 3. 第7回日本・中国鉄鋼学会議(The 7th Japan-China Symposium)

期日/場所/組織委員会委員長	H7.11/中国海口市/八木 順一郎
準備状況	団員・論文テーマ選定

###### 4. 小規模国際会議、第2回結晶粒成長国際会議(The Second International Conference on Grain Growth in Polycrystalline Materials-ICGG II)

期日/場所/組織委員会委員長	H7.5.17-19/北九州市八幡ロイヤルホテル/吉永 日出男
準備状況	H6.9月に2nd Circularを発行、国内外の関係者ならびに団体に配布。論文を募集

##### 4.6 その他の国際交流

本会への主要来訪者、海外への派遣者は次のとおり

- H6.3.30-4.1第127回講演大会でI.I.Im,Y.S.Kim,I.H.Jun,I.H.Cho, I.K.Lee,S.J.Kim,J.I.Kim,C.M.Bae(以上RIST)、P.Austin(BHP Resear-ch),T.Honeyands(Univ.Newcastle),H.C.Chen(China Steel)らが講演発表

- H6.10.8-10第128回講演大会で許南積、J.H.Jeon(以上POSCO)、M.M.Wolf(Wolftchnol),I.S.Kim(KAIST)らが講演発表
- H6.11.9世界金属・材料関係学協会理事、事務局長会議(Düsseldorf)に島田 仁を派遣。国際会議の調整を行った。共催：6件、協賛：9件、後援：5件

#### 5. 技術調査・研究事業

基礎研究会3部会、特基研究会1部会が終了。新たに基礎研究会で2部会、特基研究会で3部会が発足。

会議名	共通・重点テーマ〈開催日、開催地〉
5.1 共同研究会	
運営委員会	・共同研究会の運営方針の決定
総務幹事会	・共同研究会の運営に関する情報交換
製鉄部会	・最近の高炉合理化操業技術<6月川鉄・水島>
コークス部会	・コークス炉の延命対策について<5月神鋼・加古川>
製鋼部会	・①石炭調湿技術の現状と今後の方向②ガス精整設備の環境対策について<11月NKK・京浜>
電気炉部会	・精錬工程における精錬制御技術の現状と今後の課題<3月神鋼・神戸>
特殊鋼部会	・タンディッシュ熱間連続操業における操業、品質上の問題点とその対策<9月新日鐵・君津>
鋼板部会	・製鋼工場の機械化・省力化<5月トピー工業・豊橋>
分塊分科会	・電気炉の故障低減一炉蓋、炉壁の水冷構造に関する問題点<10月日鋼・室蘭>
	・高炭素鋼(軸受鋼、工具鋼、ばね鋼)における介在物低減対策とその評価技術<3月NKK・京浜>
	・特殊溶解における高渣浄化<10月高周波・富山、不二越・本社>
	・(条)低操業下における創意工夫(板)スラブ物流管理<6月神鋼・加古川>

会議名	共通・重点テーマ〈開催日, 開催地〉
厚板分科会	・(条)品質造り込みと製造コスト<12月大同・知多>
ホットストリップ分科会	・工場操業状況報告、新規稼働設備紹介<5月日鋼・室蘭>
コールドストリップ分科会	・TPM<11月新日鐵・名古屋> ・ロール<6月新日鐵・君津> ・操業状況報告<12月NKK・京浜>
亜鉛めっき鋼板部会	・品質直行の現状と対策<6月NKK・京浜> ・操業状況報告<11月新日鐵・八幡>
亜鉛めっき鋼板部会	・後処理<7月NKK・京浜> ・操業状況報告、特別講演「自動車用鋼板の将来展望」<H7.2月新日鐵・八幡>
条鋼部会	
大形分科会	・新JIS対応について<6月NKK・福山>
中小形分科会	・操業状況報告<11月鉄鋼協会>
線材分科会	・(A)設備保全について(B)製造コストの低減について<5月山特、合同製鐵> ・(A)要員の合理化(B)圧延ロールの使用方法<11月愛知> ・最近の要員合理化について<5月大同・知多> ・操業状況報告<10月新日鐵・室蘭>
鋼管部会	・最近のコスト合理化と技術的展望<5月川鉄・千葉>
継目無鋼管分科会	・特別講演「鋼管規格の動向と課題」(JIS、ISOを中心として)<10月新日鐵・東京、クボタ・市川> ・寸法精度について } マンネスマン <12月住金・大阪本社> 歩留について }
溶接鋼管分科会	熱押分野のコストダウン、有利な分野・商品・競合プロセスとの対比 } 熱押冷牽 冷牽分野の技術改善、有利な分野・商品・競合プロセスとの対比 }
高級ラインパイプ専門委員会	・(電縫管)電縫鋼管の直行率について(鍛接管)鍛接管の圧延、寸法精度について (UOE)UOE鋼管の製造諸元について(スパイラル)二次加工品の生産性向上<11月新日鐵・本社>
圧延理論部会	・(破壊)「X80～X100ガスパイプラインの破壊安全性の検討」(腐食)ラインパイプ外面応力腐食割れの研究
熱経済技術部会	・100回記念大会シンポジウム<6月経団連会館> ・鋼板・条鋼・鋼管圧延、成形及び関連基礎技術に関するもの<11月愛知・本社>
耐火物部会	・①アーク炉の最近の技術動向②加熱炉、アーク炉熱勘定JIS改訂小委員会報告<6月新日鐵・名古屋> ・鋼材オンライン温度制御技術研究小委員会報告<11月中山、合同製鐵・大阪>
制御技術部会	・①プロコン老朽更新の技術的課題②電気機器の建設費コストダウン対策<5月川鉄・水島> ・ライトサイジング<9月東芝・横浜> ・電気制御設備の老朽更新と延命化<11月住金・鹿島>
品質管理部会	・ISO9000Sに基づく品質管理システム審査登録制度との関わり方について<7月住金・鹿島>
機械試験小委員会	・自動化・能率化、標準化、検査制度<6月東洋鋼板・下松>
非破壊検査小委員会	・同上 <11月NKK・福山> ・条鋼・形鋼の定期実態調査<3月日鋼・室蘭> ・NDI検査員の教育訓練<10月大同・知多>
物流部会	・①流通基地検討小委員会報告②SSコード改正WG報告「スチールバンドラッシングによる積付・保定」<11月神鋼・加古川>
鉄鋼分析部会	
化学分析分科会	・Nb・ICP法、Ti呼光度法フレイム原子吸光法各WGの経過報告<6月神田学士>
機器分析分科会	・①フレイムレスAASWGの進捗報告②有害元素代替え、高含有成分の化学分析法<11月川鉄・千葉>
表面分析小委員会	・蛍光X線分析による鉄鋼中炭素定量精度<6月神田学士>
析出物分析小委員会	・発光X線分析による鉄鋼中空素定量研究<11月川鉄・千葉> ・各WG(AES、XPS、SIMS、スパッタリング)共同実験経過報告 ・共同実験経過報告 (①2-1/4Cr-1Mn鋼の時効析出物分析②Nb-Ti複合添加低合金高張力鋼における析出物分析)
鋼中微量炭素定量法研究小委員会	・高燃法の基礎的検討
設備技術部会	
鉄鋼設備分科会	・鉄鋼設備分科会50回のあゆみ<5月新日鐵・名古屋/50回記念大会>
圧延設備分科会	・二次精錬設備の現状と今後の課題<11月川鉄・水島> ・圧延設備分科会50回のあゆみ<6月三菱重工・広島/50回記念大会> ・溶接・溶射による設備の再生補修技術<12月神鋼・加古川>
調査部会	・次期テーマに関する検討

会議名	共通・重点テーマ〈開催日, 開催地〉
<b>5.2 特基研究会</b> 運営委員会 変形特性の予測と制御部会 鉄鋼の初期凝固研究部会 高純度Fe-Cr合金研究部会  鉄鋼の表面高機能化部会 ステンレス鋼の耐候性部会 表面処理鋼板の界面化合物部会  循環性元素分離部会 鉄鋼の高強度化部会 鉄鋼スラグの基礎と応用部会 4流体の移動現象部会 高強度鋼の遅れ破壊部会  スクラップ起因不純物元素の鋼材への影響部会 新コークスプロセス工学部会 再結晶・集合組織部会 耐火物の組織評価部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会の活動報告と活動計画及び予算について</li> <li>・最終報告書「変形特性の予測と制御」刊行、シンポジウム開催(4月東大・山上会館)</li> <li>・最終報告書「鉄鋼の初期凝固」刊行、シンポジウム開催(11月JAビル)</li> <li>・超高純度合金溶製装置が完成、部会、WGを各2回開催し、高・中純度共通試料の不純物元素の影響を明確化。最終報告書刊行予定(H7.4月)</li> <li>・H6春季講演大会での討論会開催。最終報告書作成スタート</li> <li>・研究発表11件、暴露試験作業部会の打ち合わせ、H6秋季講演大会で中間発表14件</li> <li>・皮膜/鋼板界面の構造と結晶方位関係、皮膜及び下地鋼板の塑性変形・破壊挙動の関係、電気めっき鋼板における電析メカニズムを重点的に研究</li> <li>・蒸発、湿式、フラックス等による循環性元素分離の研究発表、H6春季講演大会で中間報告会開催</li> <li>・鉄鋼の高強度化に関する研究発表</li> <li>・鉄鋼スラグの利用現況の把握と問題点の抽出</li> <li>・①高炉内炉芯部の更新を考慮した炉下部装入物降下挙動②総合シミュレーションモデルの開発</li> <li>・過去の研究内容を調査した上で、研究内容を5項目に分類して課題研究と自主研究を実施中</li> <li>・秋季講演大会で討論会を実施</li> <li>・研究テーマ整理とグループ分けを完了し、研究開始</li> <li>・石炭予熱および乾留時のガス発生速度論的解析、物質変化解析、軟化溶融速度論的解析</li> <li>・初年度として研究課題を整理検討し、5研究グループを定め各研究リーダーとメンバーを決定</li> <li>・組織の定量評価を目指すWGIと侵食等に及ぼす組織の影響を調査するWG2に分かれて、その進め方を検討</li> </ul>
<b>5.3 基礎研究会</b> 運営委員会 ベイナイト調査研究部会 VAMAS材料評価研究部会 圧延ロール研究部会  ミクロ組織センサー研究部会 高強度鋼板の疲労強度向上研究部会 鋼中介在物による組織と材質の制御部会 ネットネストシテティ研究部会 実用構造用鋼の基礎特性研究部会 材料機能へのメソスコピックアプローチ研究部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会の活動報告と活動計画及び予算について</li> <li>・最終報告書刊行(9月)</li> <li>・クリープ破断寿命データと疲労寿命データ評価モデルの開発ソフトウェアの海外版作成</li> <li>・最終報告書「圧延ロールの技術はどこまで進歩したか」刊行 シンポジウム開催(H7.2月東大・山上会館)</li> <li>・最終報告書「ミクロ組織の非破壊計測技術に関する最近の研究」刊行、H6秋季講演大会で討論会開催</li> <li>・溶接継手の疲労強度を低下させるために、冶金学的観点から実験を実施</li> <li>・文献調査方法と結果の討議、およびコンピューターによるシミュレーション計算方法、結果の討議</li> <li>・ネットネスト構造の研究とモデル作成、シンポジウム開催(3月)</li> <li>・機械構造用、溶接構造用鋼材の2WGに分かれ研究。</li> <li>・材料の機能特性の原子レベルの評価技術の信頼性の向上の応用領域の拡大を目的とする</li> </ul>

#### 5.4 日本金属学会との共同研究

##### (1) 金属間化合物共同研究会

本研究会は8学協会(幹事学会:日本金属学会)からなる共同研究会で、H6年には第8回「金属間化合物の組織と物性に関する分析技術」(4月28日)、第9回「最近の国際会議の研究動向について」(9月22~25日)、第10回「実用化へのアプローチを中心にして」(11月25日)、第11回「新しい高温材料を考える」(1月20,21日)のテーマで4回の研究会を開催。

##### (2) 合金状態図共同研究会

日本金属学会を幹事学会とする、資源・素材学会、科学技術庁および本会との共同研究会で、合金状態図の研究・編集を目的に活動中。H6年度には、第17回合金状態図共同研究会(5月17日)を開催。合金状態図国際委員会(94APDIC, Genova, 4月23, 24日)へ参加。第24回計算状態図国際集会(CALPHAD)の開催(H7年5月21~26日)のプレシンポジウムを兼ねて第17回合金状態図共同研究会(11月11, 12日)を開催。

#### 6. 技術情報事業

##### 6.1 図書・資料事業

###### 情報サービス

(1)「鉄と鋼」(Vol.79, 1993年)「材料とプロセス」(Vol.6, 1993年)のバックナンバーロールフィルムの頒布サービスを会員各社13事業所に、

「ISIJ International」(Vol.33, 1993年)を会員各社6事業所に頒布。

(2)共同研究会資料のマイクロフィッシュ化(1994年度)を会員各社27事業所に頒布。

##### 6.2 情報業務事業

JICSTの科学技術文献データベースへのインプット協力事業実施。

(1)抄録件数 5,800件 (2)校閲件数 4,200件

##### 6.3 著作物等の頒布

本会刊行物頒布業務ならびに本会ロゴ製品を頒布。

#### 7. 標準化事業

鉄鋼業における標準化業務の効率化と一体化という目的で、協会における事業は本年4月から鉄鋼連盟へ移管された。これにより、ほぼ35年間にわたり日本の鉄鋼業の輝かしい発展を支えてきた鉄鋼協会における本事業の幕は閉じられた。本年度事業予算は協会が作成しているため、事務所をはじめすべて移行期間ではあるが、標準化業務検討協議会の答申案に従って鋼材標準業務は計画どおりに進められてきている。参考として以下に、移管後の活動を併せ標準化事業の本年度の活動を日本鉄鋼連盟の了承を得て掲載する。

##### <参考>

###### 1. 標準規格作成事業

JISの5年見直し、JISとISO規格整合性調査、ISO規格原案の審議及び日本コメントの作成などの活動を鋼材標準委員会傘下12の分科会で

実施。国内規格の審議作成活動として、鋼の非金属介在物の顕微鏡試験方法外25規格の見直し・ISO規格整合性調査を実施し、新規の規格作成は無く、5規格のJIS改正原案を作成。原案は大学・研究所などの中立者、生産者及び使用者の三者を適正比率で構成した鋼材規格三者委員会で審議しH7年3月に工業技術院へ答申。ISO規格審議活動としては、定期見直し対象39件のISO規格を審議し、改正12件、確認26件、廃止1件を回答、またISO規格原案(DIS:18件,CD:6件)への投票、合わせて日本コメントを提出。ISO国際会議はTC17関係 8,TC67関係 16, TC164関係6の合計30会議に延べ42名の日本代表を派遣してISO規格原案に日本意見を反映。

## 2. ISO幹事国事業

### 2.1 ISO/TC17幹事国業務

#### (1)規格作成状況

H6年度に発行したISO規格は11件、一方5年見直し件数は33件。

#### (2)第18回TC17総会の開催

11月9～11日、米国フィラデルフィア近くのレッディングで開催、11か国25名(日本:1名)が参加し、鋼材の国際規格の制定・改正に関する各種議題について討議。

##### ①規格作成の迅速化

現状分析に基づく改善策、とりわけ作業項目登録前の原案の品質向上策として、新業務指針に基づく、予備段階の積極的な利用を提案

##### ②長期停滞案件の見直し

長期停滞案件のリストアップ、特に予備段階の積極的利用と案件の整理の促進を提案

##### ③ウィーン協定の実行促進

ウィーン協定の実行促進のためのTC17内のガイドを総会に提案

##### ④業務指針のTC17内での一層のブレークダウン

規格作成段階での過去のTC17内での決議一覧と業務指針の対比資料を作成し、規格作成の効率化資料として提案。これらも含めて、14の決議を採択。なお、次回は、1997年英国において開催予定。

### 2.2 ISO/TC17/SC1幹事国業務

6月7～10日、神戸にて国際会議が開催され13カ国33名が出席、コバルトやほう素の分析方法等の作業グループ(WG)で検討されてきた6件の国際規格原案を会議で承認。この内2件は日本が作業グループのリーダーを担当し国際共同実験を実施したもの(新日鉄小野氏及びコベルコ河村氏)。

新たに極低炭素分析分析法等7件の作業グループが発足、日本がこのうち、極低炭素のリーダーを担当(川鉄杉原氏)。

### 2.3 ISO/TC67/SC5幹事国業務

#### (1) ISO規格作成進捗状況

①ISO/DIS 11960.2(API Spec5CT)ケーシング、チューピングのDIS2カ月再投票を完了、承認。ISO/DIS 11961(API Spec5D)ドリルパイプのDIS投票実施中

②下記2件につきWG2, WG3にて原案作成中

ISO/WD 13679(API RP 5C5)継手試験方法

ISO/WD 13680(API規格該当なし)耐食性油井管

#### (2)ISO/TC67/SC5第4回国際会議の開催

H6.9.26(於幕張)16カ国中11カ国31名が出席。CEN(欧州標準化委員会)の要求する作業項目の取扱い、H5年に制定した油井管のねじ検査規格(ISO 10422)の改正、その他作業項目の進捗と問題点の整理・調整等に関する審議を実施。

## 3. 標準物質

### (1)鉄鋼標準物質の製造状況

新製品：化学分析用4品種

更新品：化学分析用8品種、機器分析用1シリーズ6品種

分析中：化学分析用7品種、鋼中ガス分析管理用2品種

①微量炭素定量専用鋼の新製品(JSS 1201～JSS 1204)の頒布開始

②高純度鉄2品種の更新品(JSS 001-4, JSS 002-4)の頒布開始

③新製品(鉄鉱石；アロガロベレットJSS 853-1)の開発中

④品種統合案の決定、実施

### (2)委員会組織の変更

H6年4月から社団法人日本鉄鋼連盟標準部を事務局とする鋼材標準委員会鉄鋼標準物質分科会へ移行。

### (3)委員会発足40周年記念行事の開催

①日本鉄鋼標準試料製造に関する技術報告書(第2部)の発行。

②記念懇親会の開催(12月7日、於経団連会館)。

### (4)国際化の推進

中国との第2次交流実験の実施(進行中)。

## V. 特別会計による事業

### 1. 特別資金会計による事業

#### 1.1 表彰

##### 1.1.1 H6.3.30 第79回通常総会表彰式

#### (1)渡辺義介賞

・ 濤崎 忍 川崎製鉄(株)「わが国鉄鋼業の進歩発展特に鋼材製造技術の発展と鉄鋼生産の近代化」

#### (2)西山賞

・ 森田善一郎 大阪大学「鉄鋼製錬の熱力学と輸送現象および冶金融体の物性と構造に関する研究」

#### (3)服部賞

・ 石川 明 日本鋼管(株)「鋼管製造技術の進歩発展と一貫製鉄所の新鋭化」

・ 富浦 梓 新日本製鐵(株)「鉄鋼技術の進歩・発展と国際協力・交流の発展」

#### (4)香村賞

・ 平山 満男 住友金属工業(株)「ステンレス鋼の生産技術の向上と新製品の開発に対する貢献」

・ 柳澤 治明 川崎製鉄(株)「熱間圧延技術および各種薄鋼板製造技術の進歩発展」

#### (5)渡辺三郎賞

・ 黒部 貞巳 関東特殊製鋼(株)「ロール鋼製造技術の進歩発展」

・ 平野 治男 大同特殊鋼(株)「特殊鋼量産製造技術の確立」

#### (6)野呂賞

・ 浅野 鋼一 山陽特殊製鋼(株)「協会事業の運営、特に企画・編集各委員会活動ならびに関西支部活動への貢献」

#### (7)渡辺義介記念賞

・ 岩崎 利雄 川崎製鉄(株)「薄板の新製品開発と製造技術の進歩発展」

・ 宇田勇之助 日本冶金工業(株)「ステンレス鋼冷延設備の合理化」

・ 大城 毅彦 日本高周波鋼業(株)「特殊鋼条鋼材の品質保証トータルシステムの構築と新規事業化の推進」

・ 角田 孝三 新日本製鐵(株)「自動車用鋼材の製造技術開発及び商品企画」

・ 熊野 征晴 (株)神戸製鋼所「鉄鋼製品における生産技術の進歩と発展」

・ 佐藤 信吾 新日本製鐵(株)「製鋼技術ならびに高級特殊鋼製鋼技術の開発と進歩発展」

・ 竹内 紀政 新製鋼(株)「製鉄技術、生産技術の向上発展」

・ 谷沢 清人 新日本製鐵(株)「製鋼技術の開発と向上」

・ 長阪 哲男 新日本製鐵(株)「製鋼技術及び鋼管製造技術の発展向上」

・ 中島 龍一 日本鋼管(株)「製鉄技術の進歩発展」

・ 中西 輝行 川崎製鉄(株)「条鋼製品製造技術の進歩発展と鉄鋼製品生産管理方式の高度化」

・ 西川幸一良 住友金属工業(株)「継目無鋼管製造技術の進歩発展と新製品の開発実用化」

・ 西出 輝幸 川崎製鉄(株)「薄鋼板製造技術の進歩と発展」

・ 野口 義哉 新日本製鐵(株)「高級条鋼製品の製造技術開発と新製

品開発]

- ・野原 努 日立金属(株)「特殊合金製造技術の進歩、発展」
- ・半明 正之 日本鋼管(株)「製鋼技術の進歩発展」
- ・梶井 明 日本鋼管(株)「鉄鋼技術の進歩発展と海外技術協力」
- ・御園生一長 東洋鋼板(株)「薄鋼板製造技術の開発と発展」
- ・村田 哲也 (株)神戸製鋼所「鉄鋼生産における設備技術の発展向上」
- ・森井 廉 大同特殊鋼(株)「特殊鋼製造技術の進歩発展」
- ・山本 俊郎 愛知製鋼(株)「自動車用特殊鋼材料の研究開発」
- ・横山 晃一 (株)中山製鋼所「小型製鉄設備の高生産性技術の進歩発展」
- ・吉田 圭治 住友金属工業(株)「わが国の製鋼技術の発展向上」

#### (8)西山記念賞

- ・稲葉 晋一 (株)神戸製鋼所「ペレット多配合高炉の制御技術及び計測技術に関する研究開発」
- ・上野 康 日本鋼管(株)「伝熱工学に関する基礎的研究と新プロセスの開発」
- ・加藤 忠一 新日本製鐵(株)「鉄鋼製品の表面処理・腐食に関する研究」
- ・菅 孝宏 川崎製鉄(株)「電磁鋼板の研究開発」
- ・小坂井孝生 名古屋工業大学「鉄合金の相分離に関する組織学的並びに熱力学的研究」
- ・小林紘二郎 大阪大学「凝固加工に関する基礎的研究」
- ・佐藤 彰 金属材料技術研究所「製鋼プロセスの基礎的研究」
- ・澁谷 敦義 住友金属工業(株)「表面処理鋼板の開発に関する研究」
- ・鈴木 俊夫 東京大学「凝固現象の基礎的研究」
- ・高橋 稔彦 新日本製鐵(株)「中・高炭素鋼の組織制御と強度・延性に関する研究」
- ・高橋礼二郎 東北大学「高温気固反応の速度論および製鋼プロセス解析の研究」
- ・出口 武典 日新製鋼(株)「鉄鋼材料の表面処理に関する研究」
- ・峠 竹弥 日本冶金工業(株)「ステンレス製鋼技術に関する研究開発」
- ・新家 光雄 豊橋技術科学大学「金属材料の破壊特性の解析と強靱化に関する研究」
- ・西岡 邦彦 住友金属工業(株)「コークス炉内における乾留機構の解明とその工学的応用に関する研究」
- ・野城 清 大阪大学「鉄鋼プロセスにおける界面化学的研究」
- ・肥後 矢吉 東京工業大学「新材料評価技術の開発と疲労機構の研究への応用」
- ・藤澤 敏治 名古屋大学「鉄鋼精錬に関する物理化学的基礎研究」
- ・三沢 俊平 室蘭工業大学「鉄鋼材料の腐食生成物と環境強度に関する研究」
- ・三島 良直 東京工業大学「鉄鋼材料および耐熱金属材料の組織制御と機械的性質の改善」
- ・水野 正志 大同特殊鋼(株)「特殊鋼製造工程の計測、非破壊検査技術の研究開発」
- ・山田 凱朗 (株)神戸製鋼所「高級線材にかかわる新製品・新加工技術の研究開発」
- ・大和 康二 川崎製鉄(株)「自動車用表面処理鋼板の開発に関する研究」
- ・渡邊 之 日本鋼管(株)「溶接性に優れた鋼材開発ならびに溶接構造物の安全性向上に関する研究」
- ・渡辺 和夫 新日本製鐵(株)「3次元のメタルフローを含む圧延現象の解明とその鉄鋼プロセスへの応用」

#### 1.1.2 H6.10.8 第128回講演大会表彰式

##### (1)浅田賞

- ・永井 敏 ハリマセラミック(株)「製鉄製鋼用耐火物不定形化の開拓と推進」
- ・広川吉之助 東北大学「鉄鋼の機器分析法の開発と応用」

##### (2)依論文賞

- ・「微粉炭吹き込み時の高炉内装入物挙動」  
岩永 祐治(住金)
- ・「スラブ高速鋳造時の連鋳鋳型内溶鋼流動におよぼす鋳造条件の影響」  
手嶋 俊雄・久保田 淳・鈴木 幹雄・小澤 宏一・政岡 俊

雄・宮原 忍(NKK)

- ・「H形鋼ユニバーサル圧延のセットアップ制御のための数式モデル」  
林 宏之・斎藤 晋三・片岡 健二・長山 栄之・高橋 一成(川鉄)
- ・「合金化溶融亜鉛めっき鋼板製造プロセスにおける合金化反応と皮膜構造」  
稲垣 淳一・櫻井 理孝・渡辺 豊文(NKK)
- ・「含Tiオキサイド鋼における粒内フェライト変態におよぼすBの効果」  
山本 広一・長谷川俊永・高村 仁一(新日鉄)

#### (3)澤村論文賞

- ・「Physical model of slag foaming」  
小川 雄司(新日鉄)、D.Huin・H.Gaye(IRSID)、徳光 直樹(新日鉄)
- ・「Y<sub>2</sub>O<sub>3</sub> dispersion effect on Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> protective coating examined on the basis of five models」  
池田 雄二・新居 和嘉・矢田 雅規(金材研)
- ・「Reduction behavior of iron ore fines and circulation characteristics of fines in prereluction fluidized bed」  
有山 達郎・磯崎 進市・松原 真二・川田 仁・近藤 国弘(NKK)、小林 勲(神鋼)

#### (4)三島賞

- ・阿部 光延 新日本製鐵(株)「薄鋼板連続焼鈍技術の指導原理確立」
- ・菊池 實 東京工業大学「ステンレス鋼・Ni基超耐熱合金・TiAl基金属間化合物の熱処理による組織制御に関する基礎的研究」
- ・星野 和夫 日新製鋼(株)「オーステナイト系ステンレス鋼の加工誘起マルテンサイト変態に関する基礎的研究と新材料開発」

#### (5)山岡賞

- ・日本鉄鋼協会特定基礎研究会材料電磁プロセス部会「材料電磁プロセスの研究・開発とその普及」
- ・日本鉄鋼協会特定基礎研究会応力下の腐食評価部会「湿潤硫化水素環境における鉄鋼材料の割れ感受性に関する共同研究」

#### (6)里見賞

- 羽田 隆司 大同鋼板(株)「電気めっき技術を中心とする表面処理鋼板の研究開発」

#### 1.1.3日本鉄鋼協会・日本金属学会奨学賞

第2回として32大学41学科より推薦のあった下記42名を表彰。

坂口 紀史(北大)、有瀬 訓晴・阿部 晶(室工大)、松本 路子(岩手大)、渡部 生男・高崎 康志(秋田大)、山田 剛・谷田部勝則・真田 和昭(東北大)、桐原 聡秀(茨城大)、柴崎みどり(筑波大)、藤井 剛志・林 卓哉(東大)、渡辺 佳一(東工大)、村林 亜希(横国大)、プルワディ ラハルジョ・吾郷 秀和(長岡技科大)、宇野 章(富山大)、河村 大輔・棚橋 満(名大)、見城 悟(名工大)、山本 成規(豊橋技科大)、小林 英之・光田 暁弘(京大)、中谷 忠稔・鈴木 修宏・松寺 拓(阪大)、松榮 慎二(愛媛大)、生駒 嘉史(九大)、上野 友典(九工大)、西辻 清明(長崎大)、峯 洋二(熊本大)、中本 正則(阪府大)、原田 久(姫工大)、古川 真(石巻専修大)、古江 広和(東京理科大)、高梨 睦(芝浦工大)、山地 克彦(早大)、尾崎 竜也(東海大)、熊谷 晃(西東京科学大)、西端 裕史(関西大)、田村 文宏(近畿大)

#### 1.2 湯川メモリアルレクチャー

IV.2.2(1)参照。

#### 1.3 石原・浅田研究助成

次の2件の研究に対し助成金50万円の交付を決定。

- ①複合ケイ酸塩ガラス中に晶出した結晶相の伝熱物性に及ぼす影響  
柴田 浩幸(東北大学素材工学研究所、助手)
- ②延伸抑制圧延法による異形線の成形  
宇都 宮裕(大阪大学工学部、助手)

#### 1.4 日方向学術振興交付金

第22回・第23回分として受給者を下記のとおり決定。

(第22回)

- ①青木 秀之 東北大学工学部生物化学工学科講師  
「第9回国際乾燥シンポジウム」  
1994年8月1日～4日 ゴールドコースト(オーストラリア)
- ②コマロフ セルゲイ 名古屋大学工学部材料プロセス工学科助手  
「21世紀の冶金プロセス」  
1994年9月21日～23日 ソルトレイクシティ(アメリカ)

(第23回)

- ①荻上 洋 東北大学素材工学研究所助手  
「粉体工学に関する国際会議」  
1995年3月21日～23日 ニュールンベルグ(ドイツ)
- ②小林 郁夫 東京医科歯科大学医用器材研究所助手  
「 $\gamma$ 相チタン・アルミニウム化合物国際シンポジウム'95」  
1995年2月12日～16日 ラスベガス(アメリカ)
- ③須佐 匡裕 東京工業大学工学部金属工学科助教授  
「第8回チタン国際会議」  
1995年10月22日～26日 バーミンガム(イギリス)

#### 1.5 浅田記念文庫の寄贈

29大学に対し以下の出版物を寄贈した。

- 第259号「材料とプロセス」Vol.7 Nos.1～3
- 第260号「材料とプロセス」Vol.7 Nos.4～6
- 第261号「鉄鋼リサイクル白書」
- 第262号「第153・154回西山記念技術講座テキスト」
- 第263号「第26回白石記念講座テキスト」
- 第264号「第27・28回白石記念講座テキスト」
- 第265号「第155・156回西山記念技術講座テキスト」
- 第266号「鉄鋼の初期疑問」
- 第267号「ミクロ組織の非破壊計測技術に関する最近の研究」
- 第268号 叢書 鉄鋼技術の流れ 第7編「低合金耐食鋼」

#### 1.6 鉄鋼研究振興助成金

次の20件の研究に対し新規に助成金を交付。継続34件。

- ①間欠高周波磁場による熔融金属表面の波動制御  
岩井 一彦(名古屋大学工学部)
- ②鉄浴型熔融還元炉内における気液流動特性に関する研究  
荻上 洋(東北大学素材工学研究所)
- ③溶鋼中在在物の乱流凝集に関する基礎的研究  
谷口 尚司(東北大学工学部)
- ④熔融鉄合金の表面張力およびその酸化物に対する濡れ性に関するデータベースの構築  
原 茂太(大阪大学工学部)
- ⑤鉄合金の流動限界固相率に関する研究  
大笹 憲一(北海道大学工学部)
- ⑥溶鋼中のミクロンサイズアルミナ在在物のクラスタリング・堆積過程の直視解析  
鈴木 幹雄(東北大学素材工学研究所)
- ⑦新しい電子顕微鏡法の開発と鉄鋼関連酸化物粒子の構造評価への応用  
進藤 大輔(東北大学素材工学研究所)
- ⑧自動メッシュ生成機能を持つ圧延解析用3次元剛塑性有限要素法の開発  
森謙 一郎(大阪大学基礎工学部)
- ⑨排ガス浄化装置用高A1ステンレス鋼のろう付け法の研究  
乙黒 靖男(群馬大学工学部)
- ⑩水晶振動子マイクロバランス法による亜鉛-アルミニウム合金薄膜の常温腐食挙動の研究  
田口 正美(秋田大学鉱山学部)
- ⑪亜鉛ドンドライト電析のナノスケールでの解析とその制御  
小浦 延幸(東京理科大学理工学部)
- ⑫ポテンシャルダイアグラムを用いた熔融亜鉛めっきプロセスの解析  
山口 周(名古屋工業大学工学部)

- ⑬繊維強化金属複合材料の損傷評価法の開発  
高島 和希(熊本大学工学部)
- ⑭部分溶体化処理によるマルテンサイト系ステンレス鋼の強硬化  
高木 節雄(九州大学工学部)
- ⑮在在物・析出物のフェライト核生成サイトとしての有効性を支配する因子の解明  
牧 正志(京都大学工学部)
- ⑯鉄鋼系新材料溶接部の溶接後熱処理過程での諸物性評価  
中村 満(岩手大学地域共同研究センター)
- ⑰高温加工オーステナイトの動的相変態と組織制御に関する研究  
酒井 拓(電気通信大学機械制御工学科)
- ⑱(極)低炭素鋼板の変態集合組織に関する研究  
須藤 正俊(金沢工業大学工学部)
- ⑲フェライト単相鋼の熱間加工組織の結晶学的研究  
辻 伸泰(大阪大学工学部)
- ⑳拡散および剪断が関与する変態機構の研究  
大森 靖也(愛媛大学工学部)

#### 2. 補助金等事業会計による事業

##### 2.1 日本圧力容器研究会議

材料部会、施工部会、設計部会の3部会に加え、H5年度末に運営委員会に出されたJPVRC活動活性化WGの提案を受けて、JPVRC規格化対応委員会を設立させるための準備会が活動中。本会は材料部会(部長:西島敏)およびJPVRC規格化対応委員会準備会を担当。材料部会は以下の3専門委員会と1委員会が活動中。

また、11月に「圧力容器の信頼性シンポジウム～国際標準化活動と我が国の対応～」を開催。(発表:11件、参加者:63名)

##### 1)非破壊試験専門委員会

4回開催。集束探触子を用いた大形試験体の超音波探傷試験と、実欠陥寸法との比較を研究した報告書の和文および英文版を作成。

今後の活動方針を検討するとともに、委員会活性化の一環として検査会社にも当委員会への参加を依頼し、H7年度から新たに6社が参加予定。

##### 2)圧力容器用鋼材専門委員会

3回開催。共同研究テーマ「高張力鋼の機械的特性に及ぼす冷間加工の影響」に関する試験を終了し最終報告書を作成中。

##### 3)水素脆化専門委員会

TG6、TG7とも3回開催。TG6は共同研究テーマ「C-1/2Mo鋼水素侵食材料の材料評価」に関する試験を終了。結果に関する総合討論を行っている。

TG7は3月に文献集「圧力容器用鋼の水素脆化感受性に関する文献調査結果(最近15年間の研究動向)」が完成。さらに、共同研究テーマ「長時間使用した2-1/4Cr-1Mo鋼の水素脆化感受性評価」の共同試験を続行中で、試験片の小型化の検討を進めている。

##### 4)データ収集委員会

5回開催。低合金Cr-Mo鋼のデータベース構築のための入力用フォーマットが完成。高圧ガス保安協会との連携でCr-Mo鋼の一般的機械的性質(引張特性、衝撃特性)、クリープ破断特性のデータ入力作業について検討中。

##### 5)MPC連絡委員会

H6年度は活動なし。

##### 6)JPVRC規格化対応委員会準備会

材料、設計、施工の各部会毎にまとめられた意見を持ち寄り、今後JPVRCとして進むべき方向についての検討を重ねている。

##### 2.2 ネットネストシティ研究部会

(財)機械システム振興協会からの委託を受け、自律的なエネルギー供給、廃棄物リサイクル等の機能を備えた環境にやさしい都市空間モデルについての研究を行い、報告書を作成。

また、(財)トステム建材産業振興財団の助成を受けて、「ライフラインを考慮したフレーム及び外装と一体化したフレームのリサイクルに関する研究」を行った。

## VI. 支部

### 1. 事業

#### 1.1 北海道支部

##### 1) 運営関係

(1)総会 H7.1.26 (2)理事会 3回開催。 H6.6.10、H6.12.6、H7.1.12 (3)評議員会 2回開催。 H6.6.23、H7.1.26 (4)「リストラ80」に関する本部矢野主査との意見交換会 H6.8.31 (5)支部研究会企画委員会 H7.1.12 (6)支部活性化検討会 H7.1.12

##### 2) 事業関係

##### (1) 研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
素材製造技術研究会第1回	日本金属学会北海道支部	H6.7.29	室蘭工大	特別講演 講師 鴨田 秀一、一般講演3件
“ 第2回	“	H6.12.6	北海道大	特別講演 講師 荻林 成章、一般講演6件
鋼材・新素材研究会第1回	“	H6.8.23	室蘭工大	特別講演 講師 石田 清仁、一般講演4件
“ 第2回	“	H7.1.25	北海道大	特別講演 講師 小林 俊郎、一般講演4件

##### (2) 講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
湯川記念講演会第1回	日本金属学会北海道支部	H6.6.23	北海道大	大中 逸雄	約 60名
“ 第2回	“	H7.1.26	室蘭工大	石井 邦宜	約 60名
夏季講演大会	“	H6.6.23~24	北海道大	一般講演件数 68件	約100名
冬季講演大会	“	H7.1.26~27	室蘭工大	企画講演件数 6件 一般講演件数 65件	約100名

##### (3) その他の事業

- ①「鉄と鋼」JSIJ情報ネットワーク編集委員会 3回開催 H6.3.14、H6.6.10、H6.9.21  
②「ものづくり教育を考える会」準備検討会 2回開催 H6.6.6、H6.11.14

#### 1.2 東北支部

##### 1) 運営関係

- (1)理事会 2回開催。 H6.2.28、H7.2.17

##### 2) 事業関係

##### (1) 研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
素材工学研究所研究懇談会	東北大素材研、(財)素材工学研究会、日本金属学会東北支部、資源・素材学会東北支部、粉体工学会東北談話会、東北地区化学工学懇話会	H6.11.7~8	東北大学素材工学研究所	素材とそのプロセシングの新しい解析技術
難処理希少資源研究センター研究懇談会	東北大素材研、(財)素材工学研究会、日本金属学会東北支部、資源・素材学会東北支部	H6.12.15	東北大学素材工学研究所	現代の資源状況とそれに対する素材製造プロセス課題
プロセス工学研究会		H7.2.17	東北大学工学部	金属素材中の非金属介在物

##### (2) 講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
湯川記念講演会		H6.6.28	東北大学工学部 青葉記念会館	村田 朋美 小宮山 宏	
金属関係六学協会東北支部連合シンポジウム	日本金属学会、溶接学会 日本鋳物学会、資源・素材学会各東北支部、軽金属学会 東北センター	H6.7.4	東北大学工学部 青葉記念会館	田中富三男 松岡 正 比良 隆明 斉藤 光徳	
第1回地区講演会	日本金属学会東北支部	H6.11.30	岩手大学工学部	板垣乙未生 渡辺 龍三	
第2回地区講演会	日本金属学会東北支部	H6.12.9	秋田大学鉱山学部	斎藤 好民 佐々木光夫	
特別講演会	日本鋳物協会、溶接学会、日本金属学会、資源・素材学会各東北支部	H6.3.23	東北大学工学部	M.C.Flemings	

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
大学と市民のフォーラム	東北大学(工学部、理学部、薬学部) 電気化学協会、日本金属学会 表面技術協会各東北支部、電気 化学協会第61回大会実行委員会、 軽金属学会東北センター、 仙台市、宮城県	H4.3.5	仙台国際センター		
特別講演会	日本金属学会	H6.6.24	東北大学工学部	S.H.Hong	
特別講演会	日本金属学会東北支部	H6.10.17	東北大学工学部	N.A.Gokcen	
特別講演会	〃	H6.10.31	東北大学素材 工学研究所	K.-H.Spitzer	
特別講演会	軽金属学会東北地区センター	H6.11.7	東北大学素材 工学研究所	梅田 高照	
JPJS冬季セミナーin仙台	東北大学素材工学研究所、 石油学会、日本金属学会東北支部	H6.12.2	東北大学素材 工学研究所		
特別講演会		H6.12.7	東北大学工学部	H.Qiyong	
特別講演会	日本金属学会	H6.12.26	東北大学工学部	T.A.Engl	

(3)地区見学会 H6.10.11 東京鉄鋼(株)八戸事業所、大平洋金属(株)八戸製造所

### 1.3 北陸支部

#### 1)運営関係

(1)総会 H6.12.10 (2)評議員会 2回開催。H6.7.28、12.10 (3)理事会 2回開催。H6.7.28、12.10

#### 2)事業関係

##### (1)研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
長野地区材料セミナー	日本金属学会北陸信越支部	H6.12.16	信州大学	光通信技術の動向
長野地区材料セミナー	〃	H7.2.15	セイコエプソン(株)	希土類磁石の動向
富山地区材料部会	〃	H6.5.20	富山大学	課題テーマ討論会
富山地区材料部会	〃	H6.9.2	不二越(株)	講演会(発表件数7件)
富山地区材料部会	〃	H6.10.25	東京タンクステン(株)	課題テーマ討論会
富山地区材料部会	〃	H7.2.16	三協アルミニウム工業(株)	講演会(発表件数7件)
福井地区研究会材料フォーラム	〃	H6.6.25	福井工業大学	洗浄の話し
福井地区研究会材料フォーラム	〃	H6.9.29	福井工業技術センター	チタンの話し
福井地区研究会材料フォーラム	〃	H6.11.24	古河電工(株)	アルミの話し
福井地区研究会材料フォーラム	〃	H7.2.25	武生刃物会館	刃物の話し

##### (2)講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
湯川記念講演会	日本金属学会北陸信越支部	H6.7.8	名鉄富山ホテル	龍山 智榮 一ノ瀬幸雄 溝口 勝大	約110名
支部連合講演会	〃	H5.12.11	長岡技術科学大学		講演件数106件
新潟地区特別講演会	〃	H6.9.8	長岡技術科学大学	平木 昭夫	約50名
新潟地区特別講演会	〃	H6.10.19	長岡技術科学大学	中村 道治	約50名
富山地区特別講演会	日本金属学会北陸信越支部 日本材料学会北陸信越支部	H7.1.27	富山大学	高橋 惣一 他2名	約70名
石川地区特別講演会	日本金属学会北陸信越支部	H6.12.2	金沢大学	三浦 精	約50名
石川地区特別講演会	〃	H6.12.22	金沢大学	細川 一夫	約50名
石川地区特別講演会	〃	H7.1.13	金沢工業大学	清水 謙一 他1名	約50名

##### (3)その他の事業

- ①北陸支部創立50周年記念講演会及び祝賀パーティ H6.7.8
- ②「鉄と鋼」“支部便り”編集委員会 2回開催 H6.7.28、H6.8.23
- ③50周年記念誌編集委員会 6回開催 H6.5.9、H6.6.1、H6.6.10、H6.6.30、H6.7.22、H6.8.12



#### 1.4 東海支部

##### 1) 運営関係

(1) 総会 H6.3.15 (2) 評議員会 なし (3) 理事会 5回開催 H6.3.15(新旧役員会)、5.30、8.22、10.30、H7.2.

##### 2) 事業関係

###### (1) 研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
若手冶金エンジニア研究会①		H6.3.17	名古屋大学工学部	鋼の高速連続鍛造(講師:宮沢憲一)
若手冶金エンジニア研究会②		H6.7.18~19	東海市立勤労センター	第一回若手製鋼技術者研修会
若手冶金エンジニア研究会③		H6.8.23~24	愛知製鋼保養所「鶴沼荘」	製鋼における耐火物
若手冶金エンジニア研究会④		H6.10.24	名古屋大学工学部	電磁気冶金(講師:Prof.Y.Fautrelle)
若手冶金エンジニア研究会⑤		H6.12.15	名古屋大学工学部	チタン系素材の開発(講師:前田正史)
第13回若手材料研究会		H6.6.14	名古屋大学シンポジウム	組織制御と材料開発
第14回若手材料研究会	腐食防食協会中部支部	H6.9.6	愛知県中小企業センター	材料組織と耐食性
第15回若手材料研究会		H6.11.17~18	新日鐵(株)名古屋 東海研修センター	材料組織評価と材料特性

###### (2) 講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
学術討論会		H7.1.27	名古屋大学シンポジウム	金属系材料の リサイクル(7件)	42名
講習会		H6.11.1~2	名古屋大学工学部大会議室	低成長時代の材料と 加工技術(11件)	60名
特別講演会①		H6.7.7	名古屋大学工学部	服部 孝	30名
特別講演会②		H6.12.7	名古屋大学工学部	鈴木 謙爾	40名
湯川記念講演会①		H6.3.15	名古屋大学シンポジウム	江見 俊彦	75名
湯川記念講演会②		H6.10.3	名古屋大学工学部大会議室	山口 正治	62名
金属材料 談話会①		H6.9.7	名古屋工業大学	Prof.G.R.Purdy	26名
金属材料 談話会②		H6.12.12	名古屋工業大学	Prof.D.V.Edmonds	24名
金属材料 談話会③		H7.1.23	名古屋工業大学	長村 光造	22名
材料プロセッシング 談話会①		H6.7.22	名古屋大学工学部	後藤 典弘	30名
材料プロセッシング 談話会②		H6.9.9	名古屋大学工学部	Prof.P.M.Nuncz	35名
材料プロセッシング 談話会③		H6.11.25	名古屋大学工学部	Prof.Wang.Kuihan	26名

##### (3) 育成事業

学生による材料フォーラム H6.12.7 名古屋大学工学部大会議室

##### (4) その他の事業

見学会 H6.11.28 大同特殊鋼(株)知多工場、新日鐵(株)名古屋製鉄所

ものづくり教育を考える会 H6.8.1~2 新日鐵(株)名古屋製鉄所

製鉄所まつりを活用した広報活動 H6.10.2 新日鐵(株)名古屋製鉄所

#### 1.5 関西支部

##### 1) 運営関係

(1) 総会 1回開催。H6.3.28 (2) 評議員会 2回開催。H6.3.28、9.21 (3) 理事会 5回開催。H6.3.4、3.28、7.20、9.21、12.9

##### (4) 各種委員会

① 企画小委員会 2回開催。H6.9.9、H7.1.27 ② 財務広報小委員会 1回開催。H7.2.14 ③ 材料評価セミナー運営委員会 1回開催。H6.5.12

④ 支部小史編集委員会 1回開催。H6.7.18

##### 2) 事業関係

###### (1) 研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
材料物性工学談話会	日本金属学会関西支部	3回	大阪大学、他	
鉄鋼プロセス研究会	〃	3回	山里エレクトロナイト、他	
材料開発研究会	〃	5回	大阪大学、他	
関西分析研究会	〃	3回	大阪府立大学、他	
材料化学研究会	〃	3回	上村工業、他	

## (2)講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
支部講演会	日本金属学会関西支部	H6.3.4	川崎重工業	秋川 尚史	82名
湯川記念講演会(第1回)	〃	H6.3.28	川崎製鉄	三田村外喜男 宮本 昌幸	90名
湯川記念講演会(第2回)	〃	H6.9.21	シャープ	河田 亨	80名
支部講演会	〃	H6.12.9	RITE	平橋 英行	70名
材料評価セミナー(実習つき講習会)					
①物性評価	〃	H6.10.19	三田出版社	小岩 昌宏 南 宣俊 丸山 俊夫	35名
②表面分析	〃	H6.10.24	島津製作所	篠山 哲明 小西 郁夫 小河 潔	21名
③組織観察	〃	H6.11.4	兵庫県立工業技術センター	城野 政弘 駒井謙次郎	24名
④X線回折	〃	H6.12.2	リガク	長村 光造 奥田 浩司 藤縄 剛	13名
⑤理論解析	〃	H6.12.7~8	日本電子計算	足立 裕彦 田中 功 小和田善之	25名

- (3)見学会 H6.3.4 川崎重工業(株)明石工場 参加者81名  
H6.9.21 シャープ(株)歴史ホール・技術ホール 参加者80名  
H6.12.9 地球環境産業技術研究機構 参加者70名  
(4)その他の事業 懇親会 H6.3.28 参加者50名

## 1.6 中国四国支部

## 1)運営関係

- (1)総会 H6.3.18 (2)理事会 2回開催。H6.8.4、H7.3.8 (3)幹事会 4回開催。H6.4.20、6.29、8.24、10.25 (4)臨時役員会 H6.8.24

## 2)事業関係

## (1)研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
金属物性研究会	日本金属学会中国四国支部	H6.4.15	岡山大学	講演題目4件 ポスターセッションによる質疑応答 (講演題目11件) 講演題目19件
	〃	H6.6.24	広島大学	
	〃	H7.2.16	広島大学	
材質制御技術研究会	〃	H6.4.15	岡山大学	(金属物性研究会と共催)
	〃	H6.6.24	広島大学	講演題目4件
	〃	H7.2.16	広島大学	(金属物性研究会と共催)

## (2)講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
学術講演会(湯川記念講演会)	日本金属学会中国四国支部	H6.3.18	広島弥生会館	飯田 孝道 樫野 紀元	100名
学術講演会(湯川記念講演会)	〃	H6.8.5	愛媛大学	山本 武美	74名
講演大会	〃	H6.8.4	愛媛大学		101名
第31回分析化学講習会	〃	H6.8.18~19	岡山大学		約170名

- (3)見学会 H6.8.5 帝人製機(株)松山工場 参加者46名

## (4)その他の事業

ものづくり教育を考える会「高校理科系教諭の製鉄所・研究所見学と鉄鋼技術者・研究者との懇談会」 H6.8.8~9 日新製鋼(株)製鉄所

1.7 九州支部

1) 運営関係

- (1) 総会 H6.3.18 (2) 評議員会 2回開催。 H6.3.18、6.8.19 (3) 理事会 3回開催。 H6.3.18、8.19、H7.1.13(常任理事会)  
 (4) 実行委員会 4回開催。 H6.3.11、6.10、8.19、11.11

2) 事業関係

(1) 研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
第1回材料科学談話会		H6.3.14	九州大学工学部	Polytypic Phase Transformations in SiC
第2回 "		H6.5.25	熊本大学自然科学研究科	Fracture and Fatigue in Advanced Materials
第3回 "		H6.6.16	九州大学総理工	走査型トンネル顕微鏡(STM/STS)の材料科学への応用 —格子欠陥、原子分子操作、電磁波の観察
第4回 "		H6.9.1	九州大学工学部	Deformation Mechanisms of Lamellar TiAl/Ti <sub>3</sub> Al Structures
第5回 "		H6.9.20	九州大学工学部	Interface in Composite and Bioceramics
第6回 "		H6.9.20	九州大学工学部	Laser-produced plasma at reduced pressure for isotopic analytical control
第7回 "		H6.10.7	九州大学工学部	The sink strength as key parameter for the quantitative understanding of radiation-induced mass transport and void growth
第8回 "		H6.10.26	九州大学総理工	アモルファス合金の局所構造について
第9回 "		H6.11.8	九州大学工学部	The Characteristics of Superplasticity in Ceramics
第10回 "		H6.12.7	九州大学工学部	層状銅酸化物高温超電導体の設計と合成
第11回 "		H7.1.10	鹿児島大学工学部	先端セラミックス材料のプロセッシング (Processing of Advanced Ceramic Materials)
第1回材料工学談話会		H6.3.9	九州大学工学部	Computer Simulation of High Energy and High Fluence Ion Implantation
第2回 "		H6.3.16	九州大学工学部	A $\ell$ 合金の破壊と微量不純物
第3回 "		H6.5.27	九州大学工学部	High Temperature Brittle Intergranular Cracking in High Strength Ni Alloys
第4回 "		H6.5.27	九州大学工学部	宇宙開発について
第5回 "		H6.6.14	九州大学工学部	ガラス多孔体の表面処理
第6回 "		H6.6.22	九州大学工学部	医療用材料の開発とその課題
第7回 "		H6.8.24	熊本大学自然科学研究科	Topics on Powder Injection Molding Process
第8回 "		H6.10.28	九州大学工学部	Statistical Mechanics of Hydrogen in LaNi <sub>5</sub> —From Partition Function to Phase Diagram
第9回 "		H6.11.8	九州大学工学部	酸化物の包晶凝固および単結晶育成 (酸化物超電導体を例にして)
第1回材料プロセス談話会		H6.5.13	日本タングステン福岡工場	スリップキャスト法によるセラミック /金属傾斜機能材料の作製 他 日本タングステン株式会社福岡工場見学
第2回 "		H6.4.22	九州大学工学部	Iron and Steel-making Technologies
第3回 "		H6.5.20	九州大学総理工	アモルファス半導体におけるブレイクスルー
第4回 "		H6.5.31	九州大学工学部	新製品開発における共同研究の役割
第5回 "		H6.7.8	九州大学工学部	Recent Development in Iron and Steel Industry in China
第6回 "		H6.10.28	九州大学工学部	Statistical Mechanics of Hydrogen in LaNi <sub>5</sub> —From Partition Function to Phase Diagram
第7回 "		H6.11.7	九州大学工学部	Equilibria between Alkaline Earth Metals and Oxygen. Sulfur and Phosphorus in Liquid Iron and Nickel
第8回 "		H6.12.7	九州大学工学部	製錬プロセスの解析とエネルギー評価
第9回 "		H7.1.20	九州工業大学	(一般公募の講演会)

(2) 講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
第83回講演討論会	金属学会	H6.3.18	新日鉄 八幡	村山武昭、他	94名
第84回学術講演会	"	H6.6.3	九州工業大学	(講演件数86件)	317名
第85回講演討論会	"	H6.12.2	熊本大学	森 信幸、他	114名
第48回湯川記念講演会	"	H6.3.18	新日鉄 八幡	奥野嘉雄	94名
第49回湯川記念講演会	"	H6.12.2	熊本大学	下山仁一	114名

## VII. 総務事項

- 1) H5年度事業報告・収支決算、H6年度事業計画・収支予算を文部大臣へ提出。
- 2) 理事15名の変更登記および資産総額変更を東京法務局へ提出、5月10日登記完了。
- 3) H6.5.18上記の登記完了届を文部大臣に提出。
- 4) 理事3名の変更登記を東京法務局へ提出。8月15日登記完了。
- 5) H6.8.26上記の登記完了届を文部大臣に提出。
- 6) H6.4.1付、「事務局組織規程」「文書規程」「委員会規程」「就業規則」「経理規程」を一部改正。
- 7) H6.10.9付、「給与規程」を一部改正。
- 8) H7.2.24、リストラ80実施に向け規程類全面改訂。

## IX. 寄付金の受け入れ

本年度はなし。